

**HD-CAM VTR 用**  
**ATTACHMENT MCI-3210**  
**取り扱い説明書**  
(VER H00 S0100-07)

2008年11月17日

**武蔵株式会社**

# 目次

1. 適用	P. 2
2. 概要	P. 2
3. フロントパネル	P. 3
4. MENU 操作パネル	P. 2 2
5. リアパネル	P. 2 4
6. コネクタ・ヒューズサイン	
6-1. ST-REM コネクタ	P. 2 9
6-2. REMOTE コネクタ	P. 3 1
6-3. to VTR PARALLEL コネクタ (HDW-2000 シリーズ の設定)	P. 3 3
6-4. to VTR REMOTE コネクタ	P. 3 5
6-5. EDIT-1 コネクタ	P. 3 5
6-6. EDIT-2 コネクタ	P. 3 5
6-7. CUE OUT コネクタ	P. 3 6
6-8. ST-TALLY IN コネクタ	P. 3 6
6-9. TALLY IN コネクタ	P. 3 6
6-10. TALLY OUT コネクタ	P. 3 7
6-11. PARALLEL OUT コネクタ	P. 3 7
7. MENU	
7-1. MENU 設定について	
①バージョン情報及び各 VTR 及び ATMT 設定	P. 3 8
②CONFIG BANK 設定	P. 4 0
③ERROR LOG 設定	P. 4 1
④COMMAND LOG 設定	P. 4 5
⑤PQ-REC 設定	P. 4 9
⑥PQ-PB 設定	P. 4 9
⑦BEEP 設定	P. 5 0
⑧ON AIR 設定	P. 5 1
⑨REMOTE 設定	P. 5 2
⑩ST-REM 設定	P. 5 3
⑪その他の設定	P. 5 4
⑫SYSTEM 設定	P. 5 5
7-2. MENU の初期化について	P. 5 6
7-3. ERROR 表示について	P. 5 7
8. その他の機能	P. 5 8
9. PQフォーマット	
9-1. ストップコード記録フォーマット	P. 5 9
9-2. 確認用キュー記録フォーマット	P. 5 9
9-3. ストップコードの記録データ内容	P. 6 0
10. PQ REC シーケンス	P. 6 1
11. PQ PB シーケンス	P. 6 2
12. TEST REC シーケンス	P. 6 2
13. RIS シーケンス	
13-1. RIS	P. 6 3
13-2. RIS 完了後の REC による自動 PQ REC	P. 6 4
14. 一般仕様	P. 6 5
15. 外観図	P. 6 6
16. 接続例	P. 6 7
17. 各 VTR 設定の違いと注意点	P. 6 8

## 1. 適用

本装置は武蔵製 ATTACHMENT(MCI-3210)について規定します。

尚、本仕様書に掲載されている動作内容は、各スイッチ及びメニュー設定等により異なる場合があります。

対象機種：SONY 製 VTR (A2100, 2000, S2000, M2000)

ベータカムテープ再生互換機 VTR にベータカムテープを挿入した場合は、PQ 関連動作、TEST REC 動作は動作対象外とします。(再生、早送り、巻き戻しなどの基本動作は可能)

## 2. 概要

MCI-3210 の主な機能は下記の通りです。

### <LOCAL CONTROL 機能>

- ・ ストップコードの検出機能を装備しています。
- ・ ストップコードの記録／消去機能を装備しています。
- ・ その他、TEST REC 等各種の動作が実行出来ます。

### <REMOTE CONTROL 機能>

- ・ 放送制御コンピューター等からのパラル制御が可能です。

### <EDIT CONTROL 機能>

- ・ 編集用インターフェースで直接編集機からの指示で VTR の制御が可能です。

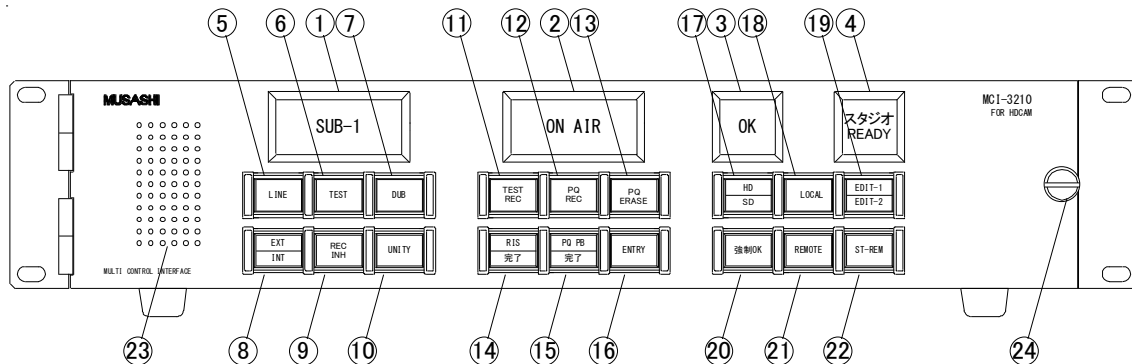
### <OA TALLY 機能>

- ・ OA TALLY 入力として TALLY IN コネクタを装備しています。
- ・ 外部 TALLY PANEL 用に TALLY OUT コネクタを装備しています。
- ・ フロントパネルに OA TALLY 用表示灯を装備しています。

### <その他の機能>

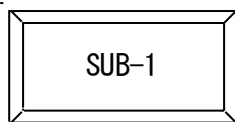
- ・ リファレンスは3値 SYNC 1125/59.94Hz、525 i /59.94 B.B に対応しています。

### 3. フロントパネル



MCI-3210 の機能を使用する時は VTR 本体の REMOTE-1(9P)スイッチ、REMOTE-2(50P)スイッチを ON (点灯) に設定して下さい。\*VTR の不揮発性 RAM に所定の設定が必要になります。

#### 3-1. 号機表示灯 (上記外観図 ① )



スクリーン色 : 乳白色  
LED 色 : アンバー色

- (a) MCI-3210 の電源投入時、表示灯はアンバー色で点灯します。
- (b) リファレンス信号がない時及び、VTR がローカル状態の時は点滅します。
- (c) VTR の障害 (HARD ERROR)、アタッチメントの障害が発生した場合、表示灯はアンバー色で点滅し警告音を出します。  
ENTRY スwitchを押すことにより警告音を消すことができます。  
アラーム表示 (点滅) は、HARD ERROR が無くなるまで解除されません。

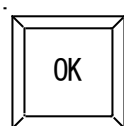
#### 3-2. ON AIR 表示灯 (上記外観図 ② )



スクリーン色 : 乳白色  
LED 色 : 赤色・緑色混合にてアンバー色

- (a) MCI-3210 の電源投入時、表示灯は消灯しています。
- (b) TALLY IN コネクタ又は ST-TALLY IN コネクタ又は REMOTE コネクタに OA TALLY を受けている間、表示灯は赤色に点灯します。
- (c) OA TALLY 強制 PLAY 実行時、VTR が LOCAL あるいはカセット未挿入時には、アンバー色に点滅します。  
(ENTRY スwitchを押すと点滅は停止します。)

### 3-3. OK 表示灯（上記外観図 ③）



スクリーン色 : 緑色

LED 色 : 緑色

- (a) OK 表示灯は PQ-PB 完了（PQ-STOP 状態）で、アタッチメントが「REMOTE」状態（上位 REMOTE との通信が可能な状態）かつアタッチメントと VTR が通信可能な状態のとき点灯します。
- (b) OK 表示灯が点灯後、アタッチメントの「REMOTE」状態を外した場合、ブザーが鳴り OK ランプが点滅になります。  
（ENTRY スイッチを押すとブザーは停止します。）
- (c) 上記でアタッチメントが「REMOTE」状態に復帰した場合、点灯状態に戻ります。（ブザー音も止まる）  
※EDIT-1 及び、EDIT-2 からの復帰時は OK ランプが消灯します。
- (d) OK ランプの解除条件は、PQ-PB 完了状態で無くなったときに消灯します。

### 3-4. スタジオ READY 表示灯（上記外観図 ④）

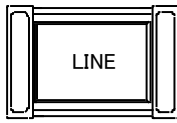


スクリーン色 : 緑色

LED 色 : 緑色

- (a) スタジオ READY 表示灯は PQ-PB 完了（PQ-STOP 状態）で、アタッチメントが「ST-REM」状態（上位 ST-REM との通信が可能な状態）かつアタッチメントと VTR が通信可能な状態のとき点灯します。
- (b) スタジオ READY 表示灯が点灯後、アタッチメントの「ST-REM」状態を外した場合、ブザーが鳴りスタジオ READY ランプが点滅になります。  
（ENTRY スイッチを押すとブザーは停止します。）
- (c) 上記でアタッチメントが「ST-REM」状態に復帰した場合、点灯状態に戻ります。（ブザー音も止まる）  
※EDIT-1 及び、EDIT-2 からの復帰時はスタジオ READY ランプが消灯します。
- (d) スタジオ READY ランプの解除条件は、PQ-PB 完了状態で無くなったときに消灯します。

### 3-5. LINE スイッチ（上記外観図 ⑤）



接点動作 : モンタリ (ガードカバー付き)

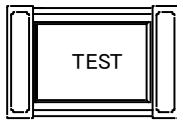
スクリーン色 : 乳白色

LED 色 : アンバー色

- (a) LOCAL 及び EDIT-1 及び EDIT-2 時に選択可能です。
- (b) LINE 選択時、PARALLEL OUT より LINE-S を出力します。
- (c) LINE 選択時、VTR 映像入力信号を SIF に切替えます。
- (d) LINE 選択時、MENU「B0:LINE AUDIO IN SEL」設定により、VTR 音声入力信号を切替える事が出来ます。
- (e) MENU「A0:REMOTE LINE SEL」設定により、REMOTE スイッチを押したとき LINE に強制的に切替える事が出来ます。
- (f) MENU「A1:ST-REM LINE SEL」設定により、ST-REM スイッチを押したとき LINE に強制的に切替える事が出来ます。
- (g) MENU「A2:ED1 SWITCHER SEL」設定により、EDIT-1 スイッチを押したとき LINE に強制的に切替える事が出来ます。
- (h) MENU「A3:ED2 SWITCHER SEL」設定により、EDIT-2 スイッチを押したとき LINE に強制的に切替える事が出来ます。
- (i) LINE 選択中点灯します。

※VTR が LOCAL 状態から REMOTE にした場合、現在の ATMT 状態 (LINE,TEST,DUB 何れか) に戻します。

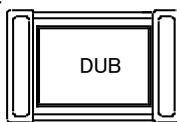
### 3-6. TEST スイッチ (上記外観図 ⑥ )



接点動作 : モーメンタリ (ガードカバー付き)  
スクリーン色 : 乳白色  
LED 色 : アンバー色

- (a) LOCAL 及び EDIT-1 及び EDIT-2 時に選択可能です。
- (b) VTR で設定した内部 SG (映像 100%CB・音声 1KHz) に切替えます。
- (c) TEST 選択中点灯します。

### 3-7. DUB スイッチ (上記外観図 ⑦ )

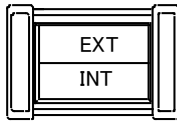


接点動作 : モーメンタリ (ガードカバー付き)  
スクリーン色 : アンバー色  
LED 色 : アンバー色

- (a) LOCAL 及び EDIT-1 及び EDIT-2 時に選択可能です。
- (b) DUB 選択時、PARALLEL OUT より DUB-S を出力します。
- (c) DUB 選択時、VTR 映像入力信号を SIF に切替えます。
- (d) DUB 選択時、MENU「B1:DUB AUDIO IN SEL」設定により、VTR 音声入力信号を切替える事が出来ます。
- (e) MENU「A2:ED1 SWITCHER SEL」設定により、EDIT-1 スイッチを押したとき DUB に強制的に切替える事が出来ます。
- (f) MENU「A3:ED2 SWITCHER SEL」設定により、EDIT-2 スイッチを押したとき DUB に強制的に切替える事が出来ます。
- (g) DUB 選択中点灯します。

※VTR が LOCAL 状態から REMOTE にした場合、現在の ATMT 状態 (LINE,TEST,DUB 何れか) に戻します。

### 3-8. EXT/INT スイッチ (上記外観図 ⑧ )

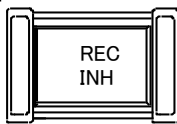


接点動作 : モーメンタリ-  
スクリーン色 : 乳白／乳白色  
LED 色 : アンバー／緑色

- (a) LOCAL 又は REMOTE、ST-REM の時、押すごとに VTR 記録時の TC を EXT／INT と切替えます。
- (b) VTR 記録時の TC が EXT の場合、EXT がアンバー色点灯します。
- (c) VTR 記録時の TC が INT の場合、INT が緑色点灯します。
- (d) VTR 側で記録時の TC を設定しても表示が切り替わります。

※上位からの REC コマンドによる MENU「72:REM REC-C TCG SET」及び「7J: ST REC-C TCG SET」動作は INT 設定時に行われます。

### 3-9. REC INH スイッチ (上記外観図 ⑨ )

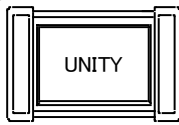


接点動作 : モーメンタリ-  
スクリーン色 : 赤色  
LED 色 : 赤色

- (a) LOCAL 時、VTR の REC INH を FREE と ALL に切り替えます。
- (b) VTR の REC INH が ALL の時に点灯します。
- (c) VTR の REC INH が FREE の時に消灯します
- (d) 装填されたテープが REC-INH(ALL)設定の場合は点灯します。
- (e) VTR にて REC INH を変更しても点灯／消灯します。

### 3-10. UNITY スイッチ (上記外観図 ⑩ )





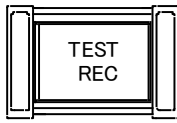
接点動作 : モーメンタリー  
スクリーン色 : 乳白色  
LED 色 : アンバー色

- (a) LOCAL 時、VTR のビデオ／オーディオの入出力を UNITY に設定します。
- (b) VTR のビデオ・オーディオ入出力が1つでも UNITY 以外に設定されると点滅します。(MENU「01:ATMT MODE SEL」設定に消灯も可能です)
- (c) VTR のビデオ・オーディオ入出力が全て UNITY の時は消灯します。  
(MENU「01:ATMT MODE SEL」設定により点灯も可能です)
- (d) MENU「06:UNITY SW MASK」設定にて本スイッチを有効／無効にするかを切替え可能です。(HDCAM の場合は無効がデフォルトになっています)

※UNITY スイッチを押してから UNITY 状態に変わるまで ATMT から VTR へ設定内容を送信する関係上、約 2 秒間かかります。

※各 VTR の UNITY 判定条件については、39 ページ「各 VTR の UNITY 判定条件について」を参照して下さい。

### 3-11. TEST REC スイッチ (上記外観図 ⑪ )

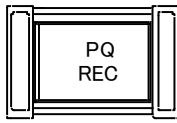


接点動作 : モーメント  
スクリーン色 : 赤色  
LED 色 : 赤色

- (a) LOCAL 時、ENTRY スイッチを押しながら、TEST REC スイッチを押すと、VTR はテープ冒頭まで自動で巻き戻しを行います。
- (b) VTR 入力を内部 SG (CB、1kHz) に切替えます。
- (c) テープ始端で STOP し、MENU「92:TEST REC TCG SET」及び「91:TEST REC PRESET」で設定した TIMECODE 値を TCG に PRESET 可能です。
- (d) MENU「90:TEST REC TIME」で設定した記録時間に従い REC した後に STOP します。この後、VTR 入力は実行前に戻します。
- (e) この一連の動作中、TEST REC スイッチが点灯します。
- (f) TEST REC 中、もう一度 ENTRY スイッチを押しながら TEST REC スイッチを押すと、TEST REC 動作を中断します。

※TEST REC シークス中に ON AIR タリ一起動にて PLAY コマンドが発行されても TEST REC シークスはそのまま継続されます。

※TEST REC 終了後は映像、音声を元の設定に戻します。



接点動作 : モーメンタリー  
スクリーン色 : 赤色  
LED 色 : 赤色

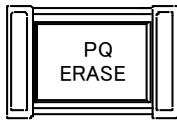
- (a) LOCAL 選択中、VTR が STOP 状態の時、ENTRY スイッチを押しながら、PQ-REC スイッチを押すと、VTR は PQ-REC シークスを実行し、STOP CODE 及びがっぱ用の 400Hz CUE TONE を記録します。※
- (b) この一連の動作中、PQ-REC スイッチが点灯します。  
(途中で記録不可になると「ピピピッ」とエラー終了音が鳴ります)
- (c) PQ-REC 動作中に STOPCODE を検出すると、PQ が 2 重打ちとならないように PQ-REC 動作を中止します。
- (d) MENU「36:PQ-REC PLAYBACK」設定により、記録後自動で PQ-PB を行い、STOPCODE が記録されていることを確認することが出来ます。
- (e) PQ-REC 中、もう一度 ENTRY スイッチを押しながら PQ-REC スイッチを押すと、PQ-REC 動作を中断します。

※CUE UP 中は 2 重書き禁止の為、PQ-REC 動作に入りません。

※PQ-REC シークス中に ON AIR タリ一起動にて PLAY コマンドが発行されても PQ-REC シークスはそのまま継続されます。

※PQ-REC が異常終了した場合、PQ-REC ランプが 5 回点滅します。

### 3-13. PQ-ERASE スイッチ (上記外観図 ⑬ )

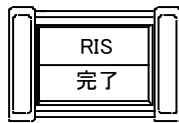


接点動作 : モーメンタリー  
スクリーン色 : 白色  
LED 色 : 赤色

- (a) LOCAL 時、PQ-PB 完了ランプ点灯中、ENTRY スイッチを押しながら PQ-ERASE スイッチを押すと VTR は PQ-ERASE シーケンスを実行し、STOP CODE 及び 400HzCUE TONE を消去します。
- (b) この一連の動作中、PQ-ERASE スイッチが点灯します。  
(途中で記録不可になると「ピピピッ」とエラー終了音が鳴ります)
- (c) MENU「36:PQ-REC PLAYBACK」設定により、消去後、自動で PQ が消去されていることを確認することが出来ます。
- (d) PQ-ERASE 中、もう一度 ENTRY スイッチを押しながら PQ-ERASE スイッチを押すと、PQ-ERASE 動作を中断します。

※PQ-ERASE シーケンス中に ON AIR タリ一起動にて PLAY コマンドが発行されても PQ-ERASE シーケンスはそのまま継続されます。

※PQ-ERASE が異常終了した場合、PQ-ERASE ランプが 5 回点滅します。



接点動作 : モーメンタリー  
スクリーン色 : 乳白／乳白色  
LED 色 : アンバー／緑色

- (a) LOCAL 時、VTR が STOP の時、ENTRY スイッチを押しながら RIS スイッチを押すと VTR はテープ冒頭まで REW 後、CTL がカット可能な速度で始端より MENU「80:RIS FORWARD TIME」で設定した時間－5 秒後の位置に頭出しし、5 秒間 PLAY して STOP し、RIS 完了ランプを点灯します。
- (b) この一連の動作中、RIS スイッチがアンバー色点灯します。
- (c) RIS 動作完了で STOP したとき完了ランプが緑色点灯します。
- (d) 完了ランプは VTR が STOP/STILL 以外になった時に消灯します。
- (e) MENU「83:RIS END CTL RESET」設定により VTR の CTL をリセットする事ができます。
- (f) RIS 完了表示灯が点灯状態で REC 制御が行われた場合、MENU「85:AUTO PQ-REC TIME」で設定した秒数に自動で PQ-REC (STOPCODE と CUE TONE 記録) が実施され、PQ-REC 完了後も REC 動作を継続します。
- (g) 自動で PQ-REC をするかしないかを MENU「84:RIS END PQ-REC」で設定可能です。
- (h) RIS 中、もう一度 ENTRY スイッチを押しながら RIS スイッチを押すと、RIS 動作を中断します。

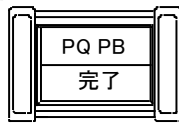
※RIS シークス中に ON AIR タリ一起動にて PLAY コマンドが発行されても RIS シークスはそのまま継続されます。

※RIS 完了後の自動 PQ-REC がエラー完了した場合、ATMT エラー音を出すと共に ENTRY を点滅させます。ENTRY スイッチを押すことによりブザー音が停止し ENTRY の赤色点滅が解除されます

※RIS 完了後の自動 PQ-REC は MENU「85:AUTO PQ-REC TIME」によりフレーム単位で記録位置を微調整可能です。(デフォルト 11 秒 00 フレーム)

※RIS 完了後の自動 PQ-REC は ST-REM からの REC 制御でのみ動作します。REMOTE からの REC 制御では動作しません。

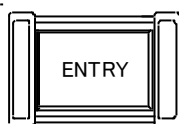
### 3-15. PQ-PB/完了スイッチ (上記外観図 ⑮ )



接点動作 : モーメンタリー  
スクリーン色 : 乳白／乳白色  
LED 色 : アンバー／緑色

- (a) LOCAL 時、ENTRY スイッチを押しながら PQ-PB スイッチを押すと、VTR は PLAY 状態になり、STOP CODE を検知すると VTR はストップします。  
この時、完了ランプが緑色点灯します。
- (b) STOP 後 VTR の CTL 値を MENU「44:PQ-PB END CTLSET」及び MENU「45:PQ-PB CTL PRESET」により設定可能です。
- (c) この一連の動作中、PQ-PB ランプがアンバー色点灯します。
- (d) PQ ストップしたとき完了ランプが緑色点灯します。
- (e) 停止位置から CTL で±10F 以上変化した時、消灯します。
- (f) PQ-PB 中、もう一度 ENTRY スイッチを押しながら PQ-PB スイッチを押すと、PQ-PB 動作を中断します。

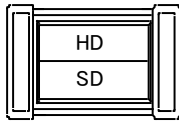
### 3-16. ENTRY スイッチ (上記外観図 ⑩ )



接点動作 : モーメンタリー  
スクリーン色 : 乳白色  
LED 色 : 赤色

- (a) LOCAL 時、各動作 (TEST REC、PQ REC、PQ ERASE、PQ PB、RIS、強制 OK) を実行する時に同時押しします。
- (b) ENTRY ランプの点滅及びブザー出力を停止します。
- (c) 押している間点灯します。
- (d) OA タリー入力中、REMOTE 及び ST-REM から「LOCAL」または「EDIT-1」または「EDIT-2」スイッチを押下することにより点滅します。

### 3-17. HD/SD 表示灯 (上記外観図 ⑪ )



スクリーン色 : 乳白／乳白色

LED 色 : アンバー／緑色

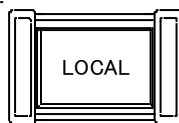
- (a) INJECT されたテープのフォーマットが HD フォーマットの時に HD がアンバー色点灯します。  
※動作する為には、VTR REMOTE(9P)の設定が有効になっていなければなりません。
- (b) HD 検出は HDW-A2100／2000／S2000／M2000 以外の機種には対応していません。
- (c) HD が点灯時は STOP CODE による検出 STOP が可能になります。
- (d) HD が点灯時は STOP CODE による検出音(BEEP)を出すことができます。
- (e) INJECT されたテープのフォーマットが SD フォーマットの時に SD が緑色点灯します。  
※動作する為には、HDW-A2100／S2000／M2000 の VTR REMOTE(9P)の設定が有効になっていなければなりません。
- (f) SD 検出は HDW-A2100／S2000／M2000 以外の機種には対応していません。
- (g) SD が点灯時は STOP CODE による検出 STOP は出来ません。
- (h) SD が点灯時は STOP CODE による検出音(BEEP)は出来ません。

※テープ故障は HD、SD とともに消灯

※BETACAM／BETACAM SP テープでは SD が表示されます。また、STOPCODE がテープに記録されていない為、PQ 検出はできません。

※BETACAM SX／DIGITAL BETACAM 等デジタル記録テープでは HD が表示されます。また、STOPCODE での検出は可能ですがフォーマットの違いにより多少停止誤差が生じることがあります。

### 3-18. LOCAL スイッチ (上記外観図 ⑩ )



接点動作 : モーメンタリ  
スクリーン色 : 乳白色  
LED 色 : アンバー色

- (a) アタッチメントのハブスイッチまたは、VTR の操作ハブで操作を可能にします。
- (b) LOCAL 選択時、PARALLEL OUT より LOCAL-S を出力します。
- (c) ATMT が LOCAL で VTR が REMOTE 状態かつファレンス入力 that 供給されている時は、点灯します。
- (d) VTR が LOCAL 状態になっている時は点滅します。
- (e) リファレンス入力がない場合は点滅します。
- (f) LOCAL が選択された場合、HD-VTR の編集モード（インサート、アッセンブルモード）を解除します。

※LOCAL スイッチを押してから LOCAL に切り替わるまで ATMT から VTR へ設定内容を送信する関係上、約 1 秒間かかります。

※LOCAL に切り替わると ATMT の全てのスイッチ操作が可能ですが、MENU により UNITY スイッチを無効にする事が可能です。

※TEST REC、PQ-REC、PQ-ERASE シークス中は他の制御系選択は禁止されます。

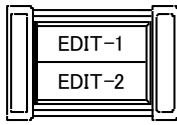
※PQ-PB と RIS シークス中は REMOTE or ST-REM → LOCAL 及び LOCAL → REMOTE or ST-REM の選択が可能です。それ以外の制御系選択は禁止します。但し、REMOTE or ST-REM → LOCAL に切替えた時は ATMT エア音が鳴り ENTRY が赤色点滅します。ENTRY スイッチを押すことによりブザー音が停止し ENTRY の赤色点滅が解除されます。

※各シークス中 REMOTE 及び ST-REM → LOCAL に切替えた場合は動作は継続します。

※各シークス中、EDIT-1,EDIT-2 には切り替わりません。

### 3-19. EDIT-1/EDIT-2 スイッチ（上記外観図 ⑱）





接点動作 : モーメンタリ- (ガードカバー付き)

スクリーン色 : 乳白/乳白色

LED 色 : アンバー/アンバー

- (a) EDIT-1 選択時、リアパネルの EDIT-1 からのシリアル通信により VTR の制御を可能とします。
- (b) EDIT-1 選択時、PARALLEL OUT より EDIT-1-S を出力します。
- (c) VTR が REMOTE 状態で ATMT が EDIT-1 選択時のみ点灯します。
- (d) EDIT-1 選択中 VTR が LOCAL になっている時または、EDIT-1 になにも接続されていない時、等編集機と VTR 間で通信が行われてない時、EDIT-1 ランプが点滅します。
- (e) EDIT-1 が選択された場合、HD-VTR の編集モード (インサート、アッセンブルモード) を解除します。
- (f) EDIT-2 選択時、EDIT-2 からのシリアル通信により VTR の制御を可能とします。
- (g) EDIT-2 選択時、PARALLEL OUT より EDIT-2-S を出力します。
- (h) VTR が REMOTE 状態で ATMT が EDIT-2 選択時のみ点灯します。
- (i) EDIT-2 選択中 VTR が LOCAL になっている時または、EDIT-2 になにも接続されていない時、等編集機と VTR 間で通信が行われてない時、EDIT-2 ランプが点滅します。
- (j) EDIT-2 が選択された場合、HD-VTR の編集モード (インサート、アッセンブルモード) を解除します。

※EDIT-1/EDIT-2 スイッチを押してから EDIT-1/EDIT-2 に切り替わるまで ATMT から VTR へ設定内容を送信する関係上、約 1 秒間かかります。

※EDIT-1 or EDIT-2 設定時、通信が途切れると COM ERROR になりますが、MENU 「08:EDIT COM ER MASK」 設定により ERROR をマスクすることが可能です。

▲MENU08 追加(改訂2008/10/09)

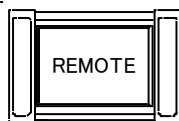
3-20. 強制 OK スイッチ (上記外観図 ⑳ )



接点動作 : モーメンタリ-  
スクリーン色 : 白色  
LED 色 : アンバー色

- (a) 正常な送出停止位置 (PQ-STOP 位置) で無い場合に操作者の判断で送出位置であると判断した場合「強制 OK」スイッチを押下することで上記の「OK」表示灯が点灯状態となります。  
※PQ-PB 完了したと同等扱いになる
- (b) 強制 OK 受付条件は、テープが装填されていてかつアタッチメントが「REMOTE」選択状態で (上位との REMOTE が可能な状態) かつアタッチメントと VTR が通信可能な状態で (COM ERROR などない状態) かつテープが走行していない (停止している) 状態の時に、ENTRY スwitch と強制 OK スwitch を同時に押すと強制 OK 状態となり「OK」ランプが点灯します。
- (c) 解除条件は、PQ-PB 完了状態から解除になる場合と同量のテープの移動があったとき「OK」表示灯が消灯します。

### 3-21. REMOTE スwitch (上記外観図 ①)



接点動作 : モンタリ- (ガードカバー付き)

スクリーン色 : 白色

LED 色 : アンバー色

- (a) REMOTE 端子からのコマンドにより制御します。(パラレル制御)
- (b) REMOTE 選択時、PARALLEL OUT より REMOTE-S を出力します。
- (c) VTR が REMOTE 状態で ATMT が REMOTE 選択時のみ点灯します。
- (d) REMOTE 選択状態で VTR が LOCAL になっている時、又は to VTR REMOTE に何も接続されていない場合は点滅します。
- (e) REMOTE が選択された場合、HD-VTR の編集モード (インサート、アッセンブルモード) を解除します。

※REMOTE スイッチを押してから REMOTE に切り替わるまで ATMT から VTR へ設定内容を送信する関係上、約 1 秒間かかります。

※REMOTE 選択時の PQ-RECRIS シークス中は REMOTE からの STOP/STILL コマンドのみ受け付けます。

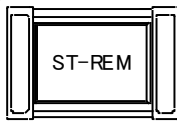
※REMOTE 選択時の PQ-PB シークス中は REMOTE からの PLAY,FF,REW,STOP/STILL コマンドのみ受け付けます。

※REMOTE 選択時の REC 中は REMOTE からの STOP/STILL コマンドのみ受け付けます。

※REMOTE 選択時の PLAY 中は OA TALLY 受け付け時以外、REMOTE からのコマンドは全て受け付けます。

※REMOTE 選択時の REC 中に LOCAL 選択は可能ですが、それ以外には切り替わりません。

### 3-22. ST-REM スイッチ (上記外観図 ② )



接点動作 : モーメンタリ- (ガードカバー付き)

スクリーン色 : 白色

LED 色 : アンバー色

- (a) ST-REM 端子からのコマンドにより制御します。(パラレル制御)
- (b) ST-REM 選択時、PARALLEL OUT より ST-REM-S を出力します。
- (c) VTR が REMOTE 状態で ATMT が ST-REM 選択時のみ点灯します。
- (d) ST-REM 選択状態で VTR が LOCAL になっている時、又は to VTR REMOTE に何も接続されていない場合は点滅します。
- (e) ST-REM が選択された場合、HD-VTR の編集モード (インサート、アッセンブルモード) を解除します。

※ST-REM スイッチを押してから ST-REM に切り替わるまで ATMT から VTR へ設定内容を送信する関係上、約 1 秒間かかります。

※ST-REM 選択時の PQ-REC, PQ-ERASE, RIS シークス中は ST-REM からの STOP/STILL コマンドのみ受け付けます。

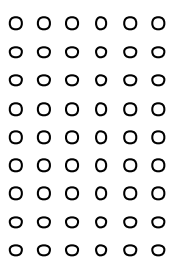
※ST-REM 選択時の PQ-PB シークス中は ST-REM からの REW, STOP/STILL コマンドのみ受け付けます。

※ST-REM 選択時の REC 中は ST-REM からの STOP/STILL, TC/TM1, CTL RESET コマンドのみ受け付けます。

※ST-REM 選択時の PLAY 中は OA TALLY 受け付け時以外、ST-REM からのコマンドは全て受け付けます。

※ST-REM 選択時の REC 中に LOCAL 選択は可能ですが、それ以外には切り替わりません。

### 3-23. ブザー (上記外観図 ⑳ )



- (a) PQ-PB 時 STOP CODE を検知すると検出音 (BEEP) を出力します。
- (b) MENU の設定により BEEP1~BEEP4、ブザー-OFF が選べます。

※ブザー-音量は以下の 5 種類です。

- OFF : ブザー-音なし
- BEEP1 : ブザー-小 VAR (フロント° 礼基板の RV1 で音量調整が可能)
- BEEP2 : ブザー-小 MAX (最大音量)
- BEEP3 : ブザー-大 VAR (メニュースイッチ基板の RV1 で音量調整が可能)
- BEEP4 : ブザー-大 MAX (最大音量)

※ブザー-音が選べる MENU は以下の 7 種類です。

- "50:DET-BEEP SW" : STOPCODE の検出、停止音 (デフォルト BEEP1)
- "53:ATMT ERR BEEP SW" : ATMT 号機灯ブリンクエラー時 (デフォルト BEEP 4)
- "54:OPE BEEP SW" : スイッチ操作音 (デフォルト BEEP 1)
- "55:OPE ERR1 BEEP SW" : スイッチ操作を受付けない音 (デフォルト BEEP 1)
- "56:OPE ERR2 BEEP SW" : ST-READY or OK 状態からはずれ時  
(デフォルト BEEP 4)
- "57:CONT ERR BEEP SW" : 操作実行中エラー終了音 (デフォルト BEEP 1)

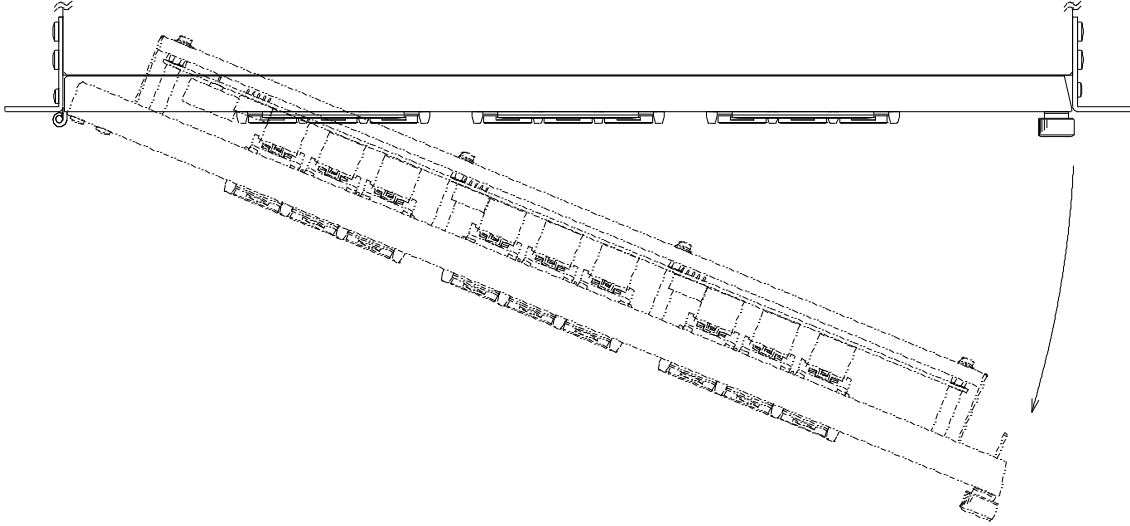
※その他の STOPCODE 検出音設定

- "51:DET-BEEP MODE" : 検出音を鳴らす条件の設定 (デフォルト ALL)
- PQPB : PQPB 時 STOPCODE 検出音を鳴らす
- ALL : 常時 STOPCODE 検出時に鳴らす
- "52:DET-BEEP ON-AIR" : ONAIR 中の検出音設定 (デフォルト DISABLE)
- DISABLE : ONAIR 中 STOPCODE 検出音を鳴らさない
- ENABLE : ONAIR 中 STOPCODE 検出音を鳴らす

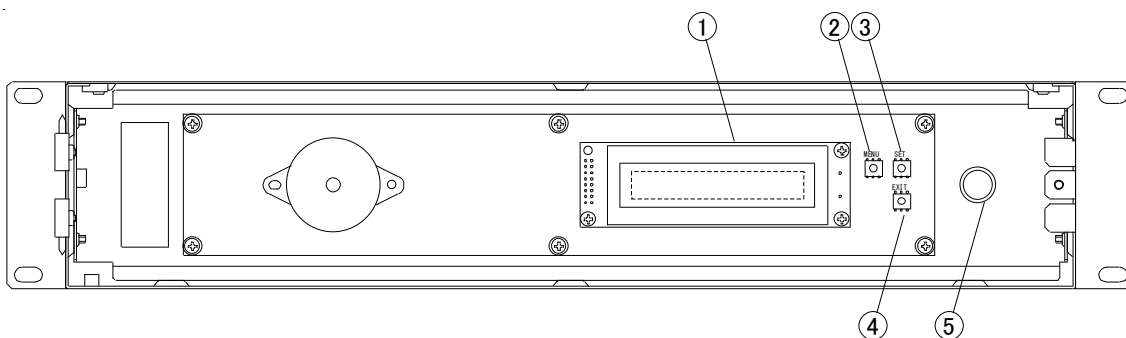
3-24. フロント° 礼固定ネジ (上記外観図 ② )



- (a) フロントパネル開口部を固定するためのネジです。
- (b) MENU 設定する時は、ネジを回してフロントパネルを開きます。

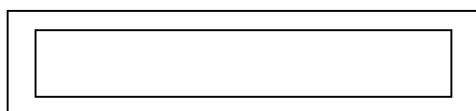


#### 4. MENU 操作パネル



※フロントパネルは開閉式になっており、中に MENU 操作パネルがあります。

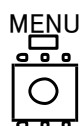
#### 4-1. LCD 表示器（上記外観図 ①）



- (a) カスタマイズ設定等を行うための MENU 表示器です。
- (b) MENU スイッチを押すことにより MENU モードに移行します。
- (c) 通常はステータス表示器として機能します。
- (d) ERROR 発生時は現在発生している ERROR 内容\*がサイクリック表示されます。（複数 ERROR が同時発生している場合、1 秒毎に現在発生している ERROR 内容が切り替わり表示されます）

\*エラーコードの詳細については、「6-3. ERROR 表示について」を参照して下さい。

#### 4-2. MENU スイッチ（上記外観図 ②）



接点動作 : モーメンタリー

- (a) MENU スイッチを押すと LCD 表示器にメニュー（設定項目）が表示され、MENU スイッチ上隣の LED が点灯します。
- (b) MENU スイッチ LED 点灯中 EXIT スイッチを押すことによりメニューが終了し、MENU スイッチ LED が消灯します。

#### 4-3. SET スイッチ（上記外観図 ③）



接点動作 : モーメンタリー

- (a) SET スイッチを押すと LCD 表示器に表示されている設定項目がセットされます。
- (b) SET スイッチは押した瞬間のみ SET 上隣の LED が点灯します。
- (c) SET スイッチを押して MENU 内容が確定した時に短い音「ピッ」が鳴ります。

#### 4-4. EXIT スイッチ (上記外観図 ④ )



接点動作 : モーメンタリー

- (a) EXIT スイッチを押すと LCD 表示器に表示されている現在の設定項目をセットしないで抜けることができます。
- (b) EXIT スイッチは押した瞬間のみ EXIT 上隣の LED が点灯します。

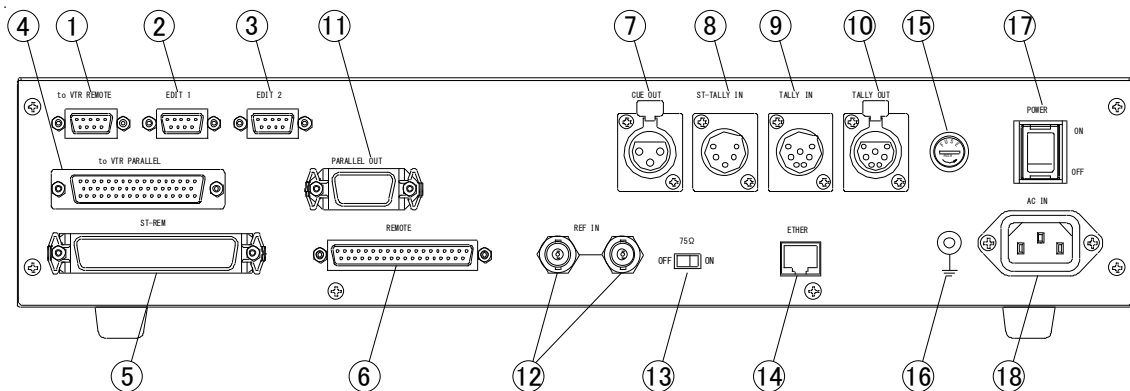
#### 4-5. MENU 設定用ツマミ (上記外観図 ⑤ )



- (a) MENU 設定用ツマミを回すことにより、MENU 設定項目を変更することができます。
- (b) MENU スイッチ上隣の LED 点灯中のみ機能します。

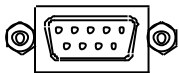
## 5. リアパネル





### 5-1. to VTR REMOTE コネクタ (上記外観図 ① )

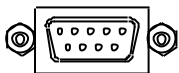
to VTR REMOTE



- (a) コントロールする VTR の REMOTE-1 IN(9P)コネクタと接続します。
- (b) LOCAL 時、MCI-3210 から VTR をコントロールします。
- (c) EDIT 時、編集機などから直接 VTR をコントロールします。

### 5-2. EDIT-1 コネクタ (上記外観図 ② )

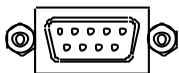
EDIT 1



- (a) 編集機などコントローラの REMOTE(9P)コネクタと接続します。
- (b) 詳細はコネクタ・ピンプアサイン/EDIT-1 コネクタを御参照下さい。

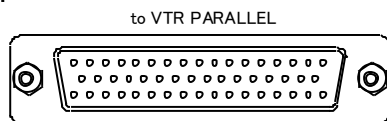
### 5-3. EDIT-2 コネクタ (上記外観図 ③ )

EDIT 2



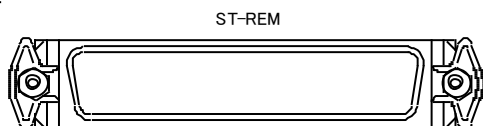
- (a) 編集機などコントローラの REMOTE(9P)コネクタと接続します。
- (b) 詳細はコネクタ・ピンプアサイン/EDIT-2 コネクタを御参照下さい。

### 5-4. to VTR PARALLEL コネクタ (上記外観図 ④ )



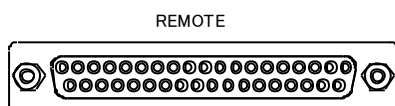
- (a) VTR の PARA I/O コネクタと接続します。
- (b) 詳細はコネクタピンアサイン／to VTR PARALLEL コネクタを御参照下さい。

#### 5-5. ST-REM コネクタ (上記外観図 ⑤ )



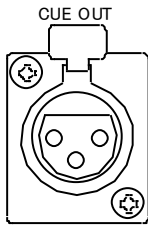
- (a) スタジオ上位システムからのパラルル制御を接続します。
- (b) パラルル制御を RS-422A に変換して VTR をコントロールします。
- (c) ST-REM コネクタからの制御は VTR がリモート状態の時のみ有効です。
- (d) 詳細はコネクタピンアサイン／ST-REM コネクタを御参照下さい。

#### 5-6. REMOTE コネクタ (上記外観図 ⑥ )



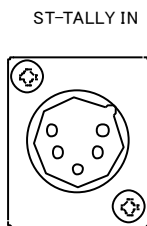
- (a) 上位システムからのパラルル制御を接続します。
- (b) パラルル制御を RS-422A に変換して VTR をコントロールします。
- (c) REMOTE コネクタからの制御は VTR がリモート状態の時のみ有効です。
- (d) 詳細はコネクタピンアサイン／REMOTE コネクタを御参照下さい。

#### 5-7. CUE OUT コネクタ (上記外観図 ⑦ )



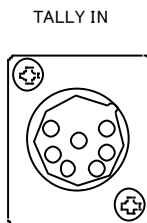
- (a) VTR の CUEトラックへが 作 用の CUE TONE を記録する時、VTR の CUE IN コネクタと接続します。
- (b) 詳細はコネクタピンプアサイン／CUE OUT コネクタを御参照下さい。

5-8. ST-TALLY IN コネクタ（上記外観図 ⑧ ）



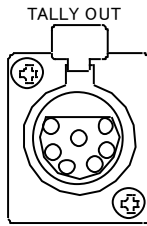
- (a) スタジオ上位システムからの OA TALLY を接続します。
- (b) 詳細はコネクタピンプアサイン／ST-TALLY IN コネクタを御参照下さい。

5-9. TALLY IN コネクタ（上記外観図 ⑨ ）



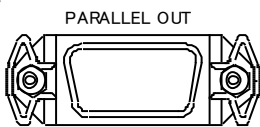
- (a) 上位システムからの OA TALLY を接続します。
- (b) 詳細はコネクタピンプアサイン／TALLY IN コネクタを御参照下さい。

5-10. TALLY OUT コネクタ（上記外観図 ⑩ ）



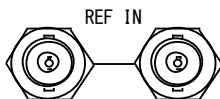
- (a) 外部に OA TALLY 情報が必要な時、使用します。
- (b) 詳細はコネクタピンプアサイン/TALLY OUT コネクタを御参照下さい。

5-11. PARALLEL OUT コネクタ (上記外観図 ⑪ )



- (a) 外部に状態ステータス情報が必要な時、使用します。。
- (b) 詳細はコネクタピンプアサイン/PARALLEL OUT コネクタを御参照下さい。

5-12. REF IN コネクタ (上記外観図 ⑫ )



- (a) 局内同期信号を入力します。
- (b) 1125(3 値 SYNC)/525(B.B)の入力に自動対応しています。
- (c) REF IN のスルー出力ができます。  
(使用するときは、75Ω 終端 SW は OFF にします。)

5-13. 75Ωスイッチ (上記外観図 ⑬ )



- (a) 75Ωスイッチにより 75Ω 終端の ON/OFF 設定ができます。

5-14. Ether コネクタ (上記外観図 ⑭ )



- (a) Ether NET (100BASE T) 制御ポートです。
- (b) ソフト Version Up、エラーログ、コマンドログ出力などで使用します。

5-15. FUSE ホルダ - (上記外観図 ⑮ )



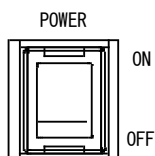
- (a) 2A のヒューズ を使います。

5-16. アース端子 (上記外観図 ⑯ )



- (a) 必要に応じて、電源アースと接続します。

5-17. POWER スイッチ (上記外観図 ⑰ )



- (a) 電源の ON/OFF するためのスイッチです。

5-18. AC IN コネクタ (上記外観図 ⑱ )

- (a) 付属の電源コード を使って、電源コンセントに接続します。

## 6. コネクターピンアサイン

### 6-1. ST-REM コネクタ

アンフェノール 50S

※入出力欄はATMT側を示します。

No.	入出力	名称	機能	備考
1	IN	C-GND	フロント コモン	
2	IN	PLAY	VTRをPLAYします。	REF入力なしでも動作可能
3	IN	PQ PB	PQ PB動作します。(次頁③参照)	検出後、PQ PB完了をON
4	IN	RIS	REWし、始端指定した秒数後に停止します。	動作終了後、RIS完了をON
5	IN			
6	IN	STOP/STILL	VTRをSTOPまたはSTILLにします。(次頁④参照)	REF入力なしでも動作可能
7	IN	REC	VTRをRECします。	REF入力なしでも動作可能
8	IN	REW	50倍速でREWします。	REF入力なしでも動作可能
9	IN	FF	50倍速でFFします。	REF入力なしでも動作可能
10	IN	PQ REC	PQ信号を記録します。	(次頁⑥参照)
11	IN	PQ ERASE	PQ STOPしたPQ信号を消去します。	ST-READY ON状態であること
12	IN	STBY ON/OFF	VTRをスタンバイON/OFFにします。	REF入力なしでも動作可能
13	IN	UNITY SET	VTRの映像/音声、入出力レベルをUNITYに設定します。	
14	IN	REC INHIBIT	FREE/REC INHを切り換えます。	
15	IN			
16	IN	REMOTE-2IN THROUGH	ATMTをEDIT-1モードに切り換えます。	REF入力なしでも動作可能
17	IN	STBY ON	VTRをスタンバイONにします。	REF入力なしでも動作可能
18	IN	EJECT	テープをEJECTします。	REF入力なしでも動作可能
19	IN			
20	IN	ST-REM	ATMTをST-REMモードに切り換えます。	REF入力なしでも動作可能
21	IN	LOCAL	ATMTをLOCALモードに切り換えます。	REF入力なしでも動作可能
22	IN	TC/TM1	TC、タイム1を切り換えます。	
23	IN	CTL RESET	タイム1をリセットします。	
24	IN	TAPE/EE	VTRのVIDEO出力のTAPE/EEを切り換えます。	
25	IN	STBY OFF	VTRをスタンバイOFFにします。	REF入力なしでも動作可能
26	OUT	S-GND	リア コモン	
27	OUT	PLAY	PLAY中ONになります。	
28	OUT	PQ PB	PQ PB中ONになります。	(次頁⑦参照)
29	OUT	STBY ON	STBY ON中ONになります。	STBY OFFでOFFします。
30	OUT	STOP/STILL	STOP/STILL中ONになります。	(次頁⑧参照)
31	OUT	RIS 中	RIS中ONになります。	
32	OUT	REC	REC中ONになります。	
33	OUT	REW	REW中ONになります。	
34	OUT	FF	FF中ONになります。	
35	OUT	PQ REC	PQ REC中ONになります。	(次頁⑩参照)
36	OUT	PQ ERASE	PQ ERASE中ONになります。	
37	OUT	RIS 完	RIS完了時ONになります。	
38	OUT	REC INHIBIT	VTRがREC INHIBITになった時、ONになります。	FREEの時OFFします。
39	OUT	PQ PB 完	PQ PB完了時、ONになります。	(次頁⑨参照)
40	OUT	TAPE THREAD	VTRにテープがある時、ONになります。	(次頁⑫参照)
41	OUT	REMOTE-2IN THROUGH	ATMTがEDIT-1モードの時、ONになります。	
42	OUT	CUE DETECT	STOP CODE検出時、ONになります。	UBで検出します。
43	OUT			
44	OUT	TIMER MODE	VTRがTIMER1モードの時、ONになります。	
45	OUT	ST-REM MODE	ATMTがST-REMモードの時、ONになります。	
46	OUT	LOCAL MODE	ATMTがLOCALモードの時、ONになります。	
47	OUT	ERROR STATUS	ATMT又はVTRがエラー状態の時ONになります。	(次頁⑪参照)
48	OUT	TC MODE	VTRがTCモードの時、ONになります。	TIMERモードでOFFします。
49	OUT	TAPE MODE	VTRがTAPEモードの時、ONになります。	EEモードでOFFします。
50	OUT	+24V DC OUT	+24V DC OUT (MAX 120mA)	

## ST-REM コネクタ

- ① ST-REM コネクタからのコマンド及びステータスの受け渡しは ST-REM スイッチ点灯時に有効です。※但し、ERROR ステータス及び ST-REM/LOCAL 切り換えは除外
- ② ATMT が VTR と制御状態になると VTR のコントロールパネルで設定したイサート、アセンブル状態を解除します。
- ③ PQ-PB の動作仕様は、フロントパネルにある ENTRY/PQ-PB スイッチを同時に押した時の検知動作と同じです。
- ④ VTR のドラムが停止している時は、ドラムを回転(ST-BY ON)させます。VTR が走行中は、ストップになります。
- ⑤ OA TALLY を受けている間は下記の動作になります。
  - ・フロントパネルにある ON AIR 表示が赤く点灯します。
  - ・OA TALLY を受けると VTR のコントロールパネルが無効になります。\*
  - ・OA TALLY を受けると PQ-PB 機能は無効となり、PQ-PB 動作中に PQ 信号を検知しても、VTR はストップしません。\*
  - ・OA TALLY を受けると VTR は PLAY になります。\*
  - ・OA TALLY を受けている間、ST-REM コネクタからの制御を禁止できます。\*
- ⑥ PQ-REC の動作仕様は、フロントパネルにある ENTRY/PQ-REC スイッチを同時に押した時の動作と同じです。
- ⑦ PQ-PB ステータスはフロントパネルの ENTRY/PQ-PB スイッチが同時に押され、PQ-PB 動作になっている間又は、ST-REM コネクタに PQ-PB コマンドを受けて PQ-PB 動作になっている間出力します。
- ⑧ VTR が、STOP 状態でかつドラムが回転している時に点灯します。\*
- ⑨ PQ PB 完ステータスは PQ-PB 機能により、PQ 信号を検出して VTR がストップしている間出力します。(ストップ位置が CTL で 10F 以上移動した場合は消灯)
- ⑩ PQ-REC ステータスはフロントパネルの ENTRY/PQ-PB スイッチが同時に押され、PQ-REC 動作になっている間又は、ST-REM コネクタに PQ-REC コマンドを受けて PQ-REC 動作になっている間出力します。
- ⑪ ERROR ステータスは、アタッチメントが ST-REM 選択時のみ出力するか、常時出力するかを MENU 「87:ST-REM ERR-S SEL」にて設定可能です。\*
- ⑫ TAPE THREAD ステータスは、アタッチメントが ST-REM 選択時出力します。LOCAL 選択時は出力するかを MENU にて設定可能です。\*

\* MENU の設定によります。

## 6-2. REMOTE コネクタ



※ VTR がリモート状態の時 (9PIN 及び 50PIN の REMOTE ホット点灯時) のみ有効です。



## REMOTE コネクタ

- ① REMOTE コネクタからのコマンド及びステータスの受け渡しは REMOTE スイッチ点灯時に有効です。
- ③ REMOTE コネクタから ST-BY ON-C,PLAY-C,STOP-C,PQ-PB-C,PQ-REC-C を受けると VTR のコントロール 1 側で設定したインサート、アングル状態を解除します。
- ③ PQ-PB-C の動作仕様は、フロント 1 側にある READY/PQ-PB スイッチを同時に押した時の検知動作と同じです。
- ④ VTR のドラムが停止している時は、ドラムを回転(ST-BY ON)させます。VTR が走行中は、ストップになります。
- ⑤ OA TALLY-C を受けている間は下記の動作になります。
  - ・フロント 1 側にある ON AIR 表示が赤く点灯します。
  - ・OA TALLY-C を受けると VTR のコントロール 1 側が無効になります。\*
  - ・OA TALLY-C を受けると PQ-PB 機能は無効となり、PQ-PB 動作中に PQ 信号を検知しても、VTR はストップしません。\*
  - ・OA TALLY-C を受けると VTR は PLAY になります。\*
- ⑥ PQ-REC-C の動作仕様は、フロント 1 側にある READY/PQ-REC スイッチを同時に押した時の動作と同じです。
- ⑦ PQ-PB-S はフロント 1 側の READY/PQ-PB スイッチが同時に押され、PQ-PB 動作になっている間又は、REMOTE コネクタに PQ-PB-C を受けて PQ-PB 動作になっている間出力します。
- ⑧ VTR が、STOP 状態でかつドラムが回転している時に点灯します。\*
- ⑨ REM OK-S は ATTACHMENT と VTR が通信状態(VTR の REMOTE STATUS 9PIN と 50PIN が点灯したとき)で、かつ VTR にテープが装填されている時 REMOTE 端子へマイク接点を出力します。
- ⑩ DET STOP-S は PQ-PB 機能により、PQ 信号を検知して VTR がストップしている間出力します。
- ⑪ PQ-REC-S はフロント 1 側の READY/PQ-PB スイッチが同時に押され、PQ-REC 動作になっている間又は、REMOTE コネクタに PQ-REC-C を受けて PQ-REC 動作になっている間出力します。
- ⑫ LOCAL DIS-S は VTR が LOCAL DISABLE になっている間出力します。
- ⑬ MENU 設定「80:REMOTE STATUS OUT」の REM/LOC&REM に関係なく、ERROR 状態の時は、常時出力します。又、REM スイッチが点灯中のみ出力する様に MENU 設定「77:REMOTE ERR-S SEL」にて可能です。

\* MENU の設定によります。

6-3. to VTR PARALLEL コネクタ (HDW-2000 シリーズ の 50PIN とストレート接続)

HDCAM → ※使用ピン欄は、MCI-3210 の機能を正常に動作させるために必要なピンです。  
HDDB-50S 又、入出力欄は VTR 側を示します。 #はユーザー設定が可能なピン

No.	入出力	名称	変更データ値	デフォルト設定	使用ピン
1	IN	LETTERBOX MODE-C	71,00,F2,FC,01,00	#F.F	○
2	OUT			REC SW OUT	
3	OUT			PLAY SW OUT	
4	OUT			STOP SW OUT	
5	OUT			ENTRY SW OUT	
6	OUT			REF SYSTEM ALARM OUT	
7	OUT			CF LOCK OUT	
8	OUT			DRUM LOCK OUT	
9	OUT			CAP LOCK OUT	
10	OUT	LETTERBOX MODE-S	03,00,F2,03,01,00	#CUE PRESET OUT	○
11	OUT	EDGE CROP-S	03,00,F2,03,00,00	#TC PRESET OUT	○
12	OUT	REC INHIBIT	02,02,08,01,00,00	#OXIDE/METAL OUT	○
13	OUT			#TAPE THICKNESS	
14	OUT			SPARE	
15	OUT			SPARE	
16		+12V OUT			○
17		C-GND			○
18	IN	EDGE CROP-C	71,00,F2,FC,00,00	#PREROLL IN	○
19	IN	REC INHI ON/OFF IN	72,00,12,FE,01,00	#ST-BY ON IN	○
20	IN			#REW IN	
21	IN	LOCAL ENABLE	71,00,55,FC,02,00	#ENTRY IN	○
22	IN	LOCAL DISABLE	71,00,55,FC,00,00	#ST-BY OFF IN	○
23	IN			#EJECT IN	
24	OUT			REC OUT	
25	OUT			CH CNDITION RED OUT	
26	OUT	SP TAPE-S	02,02,2B,01,00,00	#ASSEMBLE PRESET OUT	○
27	OUT	REMOTE 50P	02,00,19,01,00,00	#EDIT OUT	○
28	OUT			#EJECT OUT	
29	OUT			#ANALOG/DEGITAL OUT	
30	OUT			#REEL HUB OUT	
31	OUT			REM2 SETTING DATA RESET OUT	
32	OUT			ALL REC INHIBIT OUT	
33		S-GND			○
34	IN			#PLAY IN	○
35	IN			#STOP IN	
36	IN			#REC IN	
37	OUT			REV LAMP OUT	
38	OUT			#DA2 PRESET OUT	
39	OUT			#DA1 PRESET OUT	
40	OUT			FWD LAMP OUT	
41	OUT			#DA4 PRESET OUT	
42	OUT			#DA3 PRESET OUT	
43	OUT			STOP OUT	
44	OUT			#VIDEO PRESET OUT	
45	OUT			#INSERT PRESET OUT	
46	OUT			STBY ON OUT	
47	OUT			PLAY OUT	
48	OUT			REMOTE OUT	
49	OUT			ALARM OUT	
50	OUT			#PREROLL OUT	

VTR 不揮発性RAMの設定法についてはSONYのVTRマニュアルをご覧ください。

操作例 (SONY HDW-M2000 のマニュアル参照)

- ① HDW-M2000 の電源を入れます。
- ② フロントパネル上の[HOME]を押しながら[MENU]を選択します。  
ダイヤルつまみを回して「M3: OTHERS」を選び[SET]を押します。  
OTHERS 階層に入ります。
- ③ 次に、ダイヤルつまみを回して「M39: 50PIN DATA ASSIGN」を選び  
[SET]を押します。
- ④ ダイヤルつまみを回して「M390: INPUT PIN ASSIGN」を選び[SET]を  
押します。変更するピンNo. のデータにあわせ、[HOME]を押しながら  
ダイヤルつまみを回して数値を入れていきます。
- ⑤ 終了したら、[EXIT]を押し、上の階層に戻ります。  
ダイヤルつまみを回して「M391: OUTPUT PIN ASSIGN」を選び[SET]を  
押します。変更するピンNo. のデータにあわせ、[HOME]を押しながら  
ダイヤルつまみを回して数値を入れていきます。
- ⑥ 終了したら、[EXIT]を押し、上の階層に戻ります。

#### 6-4. to VTR REMOTE コネクタ

##### D-SUB 9PIN メス座

No.	名称	動作
1	FG	フレーム GND
2	to VTR REM RX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
3	to VTR REM TX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
4	TRANSMIT COMMON	送信信号 GND
5	N.C	
6	RECEIVE COMMON	受信信号 GND
7	to VTR REM RX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
8	to VTR REM TX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
9	FG	フレーム GND

#### 6-5. EDIT-1 コネクタ

##### D-SUB 9PIN メス座

No.	名称	動作
1	FG	フレーム GND
2	EDIT-1 TX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
3	EDIT-1 RX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
4	RECEIVE COMMON	受信信号 GND
5	N.C	
6	TRANSMIT COMMON	送信信号 GND
7	EDIT-1 TX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
8	EDIT-1 RX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
9	FG	フレーム GND

#### 6-6. EDIT-2 コネクタ

##### D-SUB 9PIN メス座

No.	名称	動作
1	FG	フレーム GND
2	EDIT-2 TX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
3	EDIT-2 RX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
4	RECEIVE COMMON	受信信号 GND
5	N.C	
6	TRANSMIT COMMON	送信信号 GND
7	EDIT-2 TX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
8	EDIT-2 RX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
9	FG	フレーム GND

### 6-7. CUE OUT コネクタ

XLR-3-32F77 (XLR3PIN メス座)

No.	名称	動作
1	COMMON	信号 GND
2	CUE OUT+	オーディオ信号レベル (平衡+)
3	CUE OUT-	オーディオ信号レベル (平衡-)

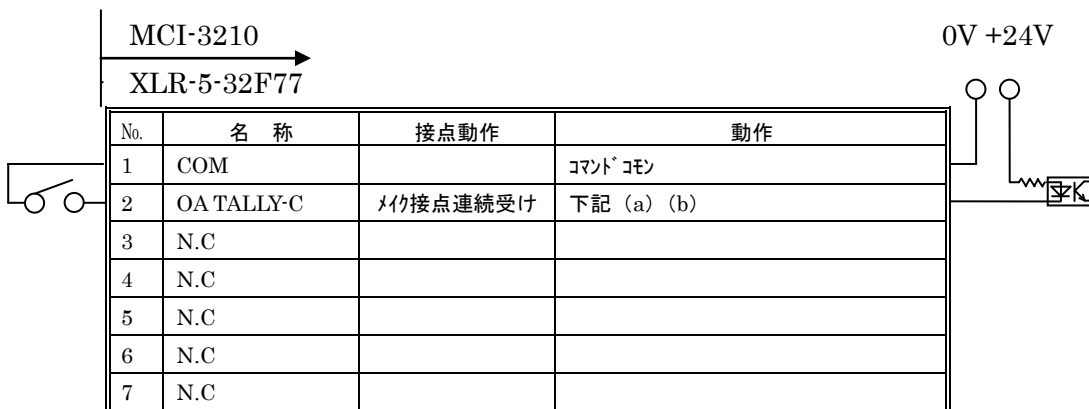
### 6-8. ST-TALLY IN コネクタ



#### ST-TALLY IN コネクタ

- (a) OA TALLY-C は常時有効です。
- (b) OA TALLY 中、ST-REM からの ST-BY ON、EDIT、ST-REM、LOCAL、TC/TM1、CTL RESET、TAPE/EE 及び MENU 設定コマンドのみ受け付けます。※STOP、ST-BY ON/OFF は OA TALLY 中 ST-BY ON のみ受け付け可能です。 ▲タリ一条件追加変更(改訂2008/11/17)

### 6-9. TALLY IN コネクタ



#### TALLY IN コネクタ

- (a) OA TALLY-C は常時有効です。
- (b) OA TALLY 中、REMOTE からの ST-BY ON、LETTERBOX、EDGE CROP 及び MENU 設定コマンドのみ受け付けます。※STOP は OA TALLY 中 ST-BY ON のみ受け付け可能です。 ▲タリ一条件追加変更(改訂2008/11/17)

### 6-10. TALLY OUT コネクタ



### TALLY OUT コネクタ

- (a) OA TALLY OUT は、TALLY IN コネクタ又は ST-TALLY IN コネクタ又は REMOTE コネクタに OA TALLY-C を受けている間出力します。
- (b) OK-S OUT は PQ-PB 完了 (PQ-STOP 状態) で、アタッチメントが「REMOTE」状態 (上位 REMOTE との通信が可能な状態) かつアタッチメントと VTR が通信可能な状態のとき出力します。
- (c) ST-READY-S OUT は、PQ-PB 完了 (PQ-STOP 状態) で、アタッチメントが「ST-REM」状態 (上位 ST-REM との通信が可能な状態) かつアタッチメントと VTR が通信可能な状態のとき出力します。

### 6-11. PARALLEL OUT コネクタ



## 7. MENU

### 7-1. MENU 設定について

#### ①バージョン情報及び各 VTR 及び ATMT 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
00:SYSTEM INFO	表示のみ	VER H00 S0100-07 S2 などバージョン情報を表示*	—
01:ATMT MODE SEL	STUDIO	スタジオ用 ATMT UNITY 中点灯、UNITY 外消灯	
	ON AIR	送出用 ATMT UNITY 中消灯、UNITY 外点滅	○
02:FORMAT SEL	HDW-A2100	コントロールする VTR を SONY HDW-A2100 に設定	
	HDW-2000	コントロールする VTR を SONY HDW-2000 に設定	
	HDW-S2000	コントロールする VTR を SONY HDW-S2000 に設定	○
	HDW-M2000	コントロールする VTR を SONY HDW-M2000 に設定	
03:STBY OFF TIM	DISABLE	ATMT からの ST-BY OFF タイマ設定は行いません	
	30sec	ATMT のタイマ設定により ST-BY OFF	
	01min		
	03min		○
	05min		
	08min		
	15min		
	30min		
06:UNITY SW MASK	OFF		UNITY スイッチは有効です
	ON	UNITY スイッチを無効にします**	○
07:REF ERR MASK	OFF	REF イア-は有効です	○
	VTR	VTR からの REF イア-を無効にします	
	ATMT	ATMT の REF イア-を無効にします	
	ALL	VTR と ATMT の REF イア-を無効にします	
08:EDIT COM ER MASK	OFF	COM イア-は有効です	○
	EDIT1	EDIT 選択時に COM イア-を無効にする	
	EDIT2	REM2 選択時に COM イア-を無効にする	
	EDIT1/2	EDIT1 及び EDIT2 選択時に COM イア-を無効にする	

▲MENU08 追加(改訂2008/10/09)

- \* "VER H00 S0100-07 S2" 表示の意味について
  - "H00" : PLD のバージョン番号
  - "S0100-07" : ファームのバージョン番号
  - "S2" : 保守情報

\* \* 06:UNITY SW MASK 設定は工場出荷時は UNITY スイッチ操作を禁止しています。

※02:FORMAT SEL を切り替えると、以下の設定内容がデフォルト値として読み込まれます。

### VTR 設定一覧表

メニュー	HDW-A2100	HDW-2000	HDW-S2000	HDW-M2000
32:PQ-REC STPCD TRIM	1	1	1	1
34:PQ-REC EDTON TRIM	13	13	13	13
35:PQ-REC EDTOF TRIM	0	0	0	0
42:PQ-PB STOP TRIM	6	6	6	6
43:PQ-PB STILL TRIM	6	6	6	6
82:RIS STOP TRIM	-6	-6	-6	-6

※各 VTR の UNITY 判定条件について以下の表に○がついている項目を判定しています。

### VTR の UNITY 判定一覧表

メニュー	HDW-A2100	HDW-2000	HDW-S2000	HDW-M2000
Out V doLvl	○	○	○	○
Out Setup Lvl	○	○	○	○
Out Chroma Lvl	○	○	○	○
Out Vdo Hue	○	○	○	○
Hd Out YLvl	○	○	○	○
Hd Out PbLvl	○	○	○	○
Hd Out PrLvl	○	○	○	○
Hd Out Setup	×	×	×	×
Aud 1234 InpLvl	×	○	○	○
Aud 1234 OutLvl	○	○	○	○
Aud Cue In Lvl	×	○	○	○
Aud Cue Out Lvl	○	○	○	○
Aud Out Phase	○	○	○	○



## ②CONFIG BANK 設定

▲MENU 番号変更(改訂2008/10/09)

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
G0:CONFIG BANK LOAD	Non	ATMT の設定情報を LOAD しません	○
	BANK1	ATMT の設定情報を BANK1 から LOAD します	
	BANK2	ATMT の設定情報を BANK2 から LOAD します	
	BANK3	ATMT の設定情報を BANK3 から LOAD します	
	BANK4	ATMT の設定情報を BANK4 から LOAD します	
	BANK5	ATMT の設定情報を BANK5 から LOAD します	
	BANK6	ATMT の設定情報を BANK6 から LOAD します	
	BANK7	ATMT の設定情報を BANK7 から LOAD します	
	BANK8	ATMT の設定情報を BANK8 から LOAD します	
G1:CONFIG BANK SAVE	Non	ATMT の設定情報を SAVE しません	○
	BANK1	ATMT の設定情報を BANK1 に SAVE します	
	BANK2	ATMT の設定情報を BANK2 に SAVE します	
	BANK3	ATMT の設定情報を BANK3 に SAVE します	
	BANK4	ATMT の設定情報を BANK4 に SAVE します	
	BANK5	ATMT の設定情報を BANK5 に SAVE します	
	BANK6	ATMT の設定情報を BANK6 に SAVE します	
	BANK7	ATMT の設定情報を BANK7 に SAVE します	
	BANK8	ATMT の設定情報を BANK8 に SAVE します	

### G0:CONFIG BANK LOAD について

- ・ 予め保存した ATMT 設定情報を読み込みます。  
つまみを回して BANK No.を選び、SET スwitchを押すことにより設定情報を読み出すことが可能です。

※CONFIG BANK LOAD 後、自動的に再起動します

### G1:CONFIG BANK SAVE について

- ・ ATMT の設定情報を最大 8 パターン SAVE 可能です。  
つまみを回して BANK No.を選び、SET スwitchを押すことにより設定情報を保存することが可能です。

### ③ERROR LOG 設定

▲MENU 番号変更(改訂2008/10/09)

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
H0:ERR-LOG	000~999	000~999 エラーログ表示	00
H1: ERR-LOG SAVE	SAVE	エラーログの保存	○
	EXIT	そのまま抜ける	
H2: ERR-LOG ERASE	EXIT	そのまま抜ける	○
	ERASE	エラーログの消去	

#### H0:ERR-LOG について

本機で検知されるエラーは以下の内容です。

このエラーが、LCD 下段のサイクリック表示 及び エラーログされるものです。

- ・ ログ表示例: 50PIN のスイッチが LOCAL になっていた場合。

"H0:ERR-LOG >000 5:01"

" E1061:50P LOC ER" 50PIN が LOCAL になっていた (最後のログ)

"H0:ERR-LOG >001 FULL"

" E1052:VTR LOC ER" 9PIN LOCAL になっていた (最後の次のログ)

上の行の>3桁の数字は、ログ番号 "000~999" です。

ログ番号が"999"を超えた場合、古いコマンドログ番号から消去され、最新コマンドログ番号が上書きされます。

上の行の一番後ろに記述してある "5:01" は時間を表します。

前回のログからの経過時間を示します。(秒:フレーム単位)

例えば、"5:01" は前回の变化から 5 秒 01 フレーム後のログを表します。

時間表示範囲は"0:00" (0 秒 0 フレーム) ~ "9:29" (9 秒 29 フレーム) です。

※ "9:29" (9 秒 29 フレーム) 以上経過している場合は<FULL

下の行先頭の数字"E????"はエラーコードです。

エラーの種類を表します。

- ・ 号機等点滅エラー 関係 (発生時, Beep と エラーログ と LCD に周回表示)

- "E1010:EXT REF ER" : 本機へのリファレンス入力が途絶えた場合
- "E1020:VTR COM ER" : ATMT<->VTR との RS422 通信が途絶えた場合
- "E1030:ED1 COM ER" : EDIT-1<->VTR との RS422 通信が途絶えた場合
- "E1040:ED2 COM ER" : EDIT-2<->VTR との RS422 通信が途絶えた場合
- ※ "E1050:SNS ER\*\*\*\*\*" : 周期センス(TcExt/Int,RecInhi,Unity 状態等)エラー
- "E1051:VTR H/W ER" : VTR から H/W ERROR のアンサーがあった場合
- "E1052:VTR LOC ER" : VTR から Vtr Local のアンサーがあった場合
- "E1053:VTR REF ER" : VTR から Ref Miss のアンサーがあった場合
- "E1060:50P OFF ER" : VTR から VTR 50P Off err のアンサーがあった場合
- "E1061:50P LOC ER" : VTR から VTR 50P Local err のアンサーがあった場合

※"\*\*\*\*\*"はサービスマンコードです

- ・ 操作時に発生するエラー 関係 (発生時, Beep と エラーログ)

- "E2010:VTR NotRdy" : VTR が 通信断,Local,NoTape 等である
- "E2011:VTR NotStp" : PQREC/RIS 操作時 VTR が 停止していない
- "E2012:VTR NotDet" : PQERA 操作時 VTR が PQPB 完 状態でない
- "E2013:VTR DetStp" : PQREC 操作時 VTR が PQPB 完 状態である
- "E2014:VTR RecIhi" : REC 系操作時 VTR が REC 禁止状態である
- "E2015:VTR NotTm1" : SREM の CtlReset 操作時 VTR が TM1 状態でない
- "E2016:VTR REC " : VTR が 収録中(※主に REM1 操作時)
- "E2020:ATMT BUSY1" : ATMT が処理中(Swr 切替,ExtInt,RecInhi,Unity 等)
- "E2021:ATMT BUSY2" : ATMT が処理中(TestRec,PqRec/Era,PqPb,Ris 等)
- "E2022:ATMT ABOT1" : 強制中断(Line/Test/Dub,TcExt/Int,RecInhi,Unity 等)
- "E2023:ATMT ABOT2" : 強制中断(TestRec,PqRec/Era,PqPb,Ris 等)
- "E2024:ATMT PQPB " : PQPB 動作中(OA 起動等で PQPB を重複起動した場合等)
- "E2030:OA INHI " : OA 中
- "E2040:RMT SEL ER" : LOCAL,REMOTE,ST-REM,EDIT-1,EDIT-2 選択状態エラー
- "E2041:UNITY MASK" : UNITY SW マスク中 (※UNITY 操作時)

- ・ 各処理が正常終了しなかった場合のエラー (発生時, Beep と エラーログ)

"E9010:INIT \*\*\*\*\*": 初期設定通信 終了完了  
 (※起動時や通信断からの復帰時の通信等)

"E9011:LcDis \*\*\*\*\*": Local Dis コマンドエラー完了(※OA 時や上位選択時等)

"E9011:LcEna \*\*\*\*\*": Local Ena コマンドエラー完了

"E9011:STBON \*\*\*\*\*": Standby-On 通信終了完了(※タイマー設定も含)

"E9011:PLAY \*\*\*\*\*": PLAY コマンド 通信 終了完了

"E9011:OAPLY \*\*\*\*\*": OA 起動での PLAY コマンド 通信 終了完了

"E9011:REC \*\*\*\*\*": REC コマンド 通信 終了完了

"E9011:STOP \*\*\*\*\*": STOP コマンド 通信 終了完了

"E9011:STILL \*\*\*\*\*": STILL コマンド 通信 終了完了(※JOG Still)

"E9011:FF \*\*\*\*\*": FF コマンド 通信 終了完了

"E9011:REW \*\*\*\*\*": REW コマンド 通信 終了完了

"E9011:EJECT \*\*\*\*\*": EJECT コマンド 通信 終了完了

"E9011:STBOF \*\*\*\*\*": Standby-Off 通信 終了完了

"E9011:TC/TM \*\*\*\*\*": TIMER MODE SELECT 通信 終了完了

"E9011:CTLRS \*\*\*\*\*": Ctl Reset 通信 終了完了

"E9011:TP/EE \*\*\*\*\*": TAPE/AUTO SELECT 通信 終了完了  
 (※E9011 終了は REMOTE、ST-REM 操作によるコマンド 通信終了完了です)

※"\*\*\*\*\*"はサービスマンコードです

"E9020:LINE \*\*\*\*\*": "LINE" 操作時の通信終了完了

"E9021:TEST \*\*\*\*\*": "TEST" 操作時の通信終了完了

"E9022:DUB \*\*\*\*\*": "DUB" 操作時の通信終了完了

"E9030:TCSEL \*\*\*\*\*": "EXT/INT" 操作時の通信終了完了

"E9031:RECIH \*\*\*\*\*": "RECINHI" 操作時の通信終了完了

"E9032:UNITY \*\*\*\*\*": "UNITY" 操作時の通信終了完了

"E9040:TSREC \*\*\*\*\*": "TEST REC" 操作時の通信終了完了

"E9041:PQREC \*\*\*\*\*": "PQ REC" 操作時の通信終了完了

"E9042:PQERA \*\*\*\*\*": "PQ ERA" 操作時の通信終了完了

"E9043:PQPB \*\*\*\*\*": "PQ PB" 操作時の通信終了完了

"E9044:RIS \*\*\*\*\*": "RIS" 操作時の通信終了完了

"E9045:TCREC \*\*\*\*\*": "TC SET & REC" 操作時の通信終了完了  
 (※ST-REM の REC 操作によるコマンド 送信等)

"E9050:LOCAL \*\*\*\*\*": "LOCAL" 操作時の通信終了完了

"E9051:REMOTE \*\*\*\*\*" : "REMOTE" 操作時の通信エラー完了

"E9052:ST-REM \*\*\*\*\*" : "ST-REM" 操作時の通信エラー完了

"E9053:EDIT-1 \*\*\*\*\*" : "EDIT-1" 操作時の通信エラー完了

"E9054:EDIT-2 \*\*\*\*\*" : "EDIT-2" 操作時の通信エラー完了

※"\*\*\*\*\*"はサービスマンコードです

#### ・参考

本ユニット電源投入時、または、通常使用中において、  
H/W 故障や致命的なバグに関連するような不具合が発生した場合、  
LCD 上段表示に "SYSTEM ERROR ~" と表示されます。  
この表示が出た場合は、修理を依頼して下さい。

※ 例：起動時にメモリ異常が検知された場合等

LCD 上段: "SYSTEM ERROR BOOT"

LCD 下段: "E0006:SRAM ER"

※ 致命的なエラーなので、ログ処理自体が信用出来ない場合も  
あり、システムエラーはログしていません。

※ ERR-LOG は COM-LOG にも同様にエラー内容が記録されます

#### H1:ERR-LOG SAVE について

・エラーログを保存したい時 SAVE します。

※ MCI-3210 の電源を切るとエラーログが消えてしまいますが、SAVE すること  
によりエラーログを不揮発性 RAM へバックアップすることができます。

#### H2:ERR-LOG ERAS について

・ エラーログを消去したい時に ERASE します。

④COMMAND LOG 設定

▲MENU 番号変更(改訂2008/10/09)

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
J0:COM-LOG	000~999	000~999 コマンドログ表示	000
J1:COM-LOG SAVE	SAVE	コマンドログの保存	○
	EXIT	そのまま抜ける	
J2:COM-LOG ERASE	EXIT	そのまま抜ける	○
	ERASE	コマンドログの消去	

## J0: CMD-LOG について

- ・ ログ表示例: ST-REM GPI の PQPB が操作された場合

"J0:CMD-LOG >000 0:15"

" REM1:PQPB-0" PQPB が離された (最後のログ)

"J0:CMD-LOG >001 9:29"

" REM1:PQPB-1" PQPB が押された (最後の次のログ)

上の行の>3桁の数字は、ログ番号 "000~999" です。

ログ番号が"999"を超えた場合、古いコマンドログ番号から消去され、最新コマンドログ番号が上書きされます。(エラーログも記録されます)

上の行の一番後ろに記述してある "0:15" は時間を表します。

前回のログからの経過時間を示します。(秒 : フレーム単位)

例えば、"0:15" は前回の变化から 0 秒 15 フレーム後のログを表します。

時間表示範囲は"0:00" (0 秒 0 フレーム) ~ "9:29" (9 秒 29 フレーム) です。

※ "9:29" (9 秒 29 フレーム) 以上経過している場合は<FULL

下の行先頭のアルファベット "RM","ST","VTR","PNL","TLY"は GPI の入力ポートを表します。

" RM" は REMOTE コネクタからのログを示します。

" ST" は ST-REM コネクタからのログを示します。

" VTR " は VTR コネクタからのログを示します。

" PNL" はフロントパネル操作によるログを示します。

" TLY " は TALLY IN コネクタからのログを示します。

下の行先頭後のアルファベットはコマンド又はステータスを表します。

下の行の後ろに付いている "-0"又は"-1"はコマンドの立ち下がり、立ち上がりを表しています。

"-1" は立ち下がりを示します。

"-0" は立ち上がりを示します。

- ・ REMOTE GPI 入力コマンドログ表示

"RM:PQPB"

"RM:PLAY"  
"RM:OATLY"  
"RM:STBY"  
"RM:REC"  
"RM:STP/STL"  
"RM:FF"  
"RM:REW"  
"RM:PQREC"  
"RM:LTRBOX"  
"RM:EDGCRP"

・ ST-REM GPI 入力コマンドログ表示

"ST:PLAY"  
"ST:PQPB"  
"ST:RIS"  
"ST:STP/STL"  
"ST:REC"  
"ST:REW"  
"ST:FF"  
"ST:PQREC"  
"ST:PQERA"  
"ST:STBY"  
"ST:UNITY"  
"ST:RECINHI"  
"ST:EDIT1"  
"ST:STBYON"  
"ST:EJECT"  
"ST:ST-REM"  
"ST:LOCAL"  
"ST:TC/TM1"  
"ST:CTLRST"  
"ST:TP/EE"  
"ST:STBYOFF"

・ フォント<sup>o</sup> 初操作による入力コマンドログ表示

"PNL:LINE"

"PNL:TEST"  
"PNL:DUB"  
"PNL:EXT/INT"  
"PNL:RECINHI"  
"PNL:UNITY"  
"PNL:TESTREC"  
"PNL:PQREC"  
"PNL:PQERA"  
"PNL:RIS"  
"PNL:PQPB"  
"PNL:ENTRY"  
"PNL:(HD/SD)"  
"PNL:LOCAL"  
"PNL:EDIT1/2"  
"PNL:KOK"  
"PNL:REMOTE"  
"PNL:ST-REM"

・ VTR GPI ステータス ログ 表示

"VTR:LTRBOX"  
"VTR:EDGCRP"  
"VTR:RECINHI"  
"VTR:SPTAPE"  
"VTR:REM50P"  
"VTR:REM9P"  
"VTR:PWR" : (VTR 50P 電源 BIT)

・ TALLY IN ステータス ログ 表示

"TLY:ST-OA"  
"TLY:RM-OA"

・ 動作ログ関係 (※PLAY/STOP 関連のみ)



"RCP PLAY"	: "PLAY" 要求を受付
"RCP STOP"	: "STOP" 要求を受付
"RCP PQPB"	: "PQPB" 要求を受付
"SND PLAY"	: PLAY を送信
"SND STOP"	: STOP を送信
"SND STILL"	: STILL を送信 (※JOG STILL)
"EXE PQPB"	: PQPB の実行開始

#### J1: COM-LOG SAVE について

- ・コマンドログを保存したい時 SAVE します。

※ MCI-3210 の電源を切るとコマンドログが消えてしまいますが、SAVE することによりコマンドログを不揮発性 RAM へバックアップすることができます。

#### J2: COM-LOG ERASE について

- ・コマンドログを消去したい時に ERASE します。

### ⑤PQ-REC 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
30:PQ-REC TIME	01S00F~31S00F	PQ-REC 開始点の時間設定	04S00F
31:PQ-REC PREROL SEC	1S~5S	PQ-REC 時のプリロール設定	3S
32:PQ-REC STPCD TRIM	00F~30F	STOP CODE 記録位置の微調整	01F
33:PQ-REC CUETN TRIM	00F~30F	CUE TONE 記録位置の微調整	01F
34:PQ-REC EDTON TRIM	00F~30F	PQ-REC EDIT ON 開始点の微調整*	13F
35:PQ-REC EDTOF TRIM	00F~30F	PQ-REC EDIT OFF タイミングの微調整*	00F
36:PQ-REC PLAY BACK	DISABLE	PQ-REC(PQ-ERASE) PLAYBACK 機能無効	
	ENABLE	PQ-REC(PQ-ERASE) PLAYBACK 機能有効	○
38:REC TCG DELAY	DEFAULT	REC-C TCG PRESET の REC-C 送信レベル設定	○
	00F		
	05F		
	10F		
	15F		
	20F		
	25F		
	30F		

**\* 33:PQ-REC EDTON TRIM について 補足**

PQ-REC EDTON TRIM は VTR の EDIT ON タイミングを微調整できます。  
VTR が EDIT ON するまでのレベル時間を設定します。

デフォルト設定では、VTR (HDW-2000,HDW-A2100) が EDIT ON するまでの  
レベル時間が 8 フレームなので余白を加算して 13F に設定されています。

(U-BIT フリセットは 1 フレーム)

このことは、8 フレーム前に EDIT ON コマンドを ATTACHMENT から投げることで  
VTR の EDIT ON タイミングが書き込み開始位置と一致するという意味です。

**⑥PQ-PB 設定**

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
40:PQ-PB UP TIME	00S00F~30S00F	PQ-PB CUE UP 点の時間設定*	03S00F
41:PQ-PB STOP MODE	STOP	CUE UP 時 STOP で停止	○
	STILL	CUE UP 時 STLL で停止	
42:PQ-PB STOP TRIM	00F~30F	STOP CODE での VTR 停止位置の微調整	06F
43:PQ-PB STILL TRIM	00F~30F	STOP CODE での VTR 停止位置の微調整	06F
44:PQ-PB END CTLSET	DISABLE	PQ-PB 完了時 CTL-PRESET しない	○
	ENABLE	PQ-PB 完了時 CTL-PRESET する	
45:PQ-PB CTL PRESET	00S00F~30S00F	PQ-PB 完了時の CTL 値を設定	00S00F

**\* 40:PQ-PB UP TIME について 補足**

PQ-PB UP TIME は、ON AIR 開始点を基準にマイクス方向の静止時間を設定  
します。PQ-REC TIME は必ず PQ-PB UP TIME より 1 秒以上マイクス方向に  
設定して下さい。(STOP CODE が DETECT STOP 位置より手前に記録  
されている必要があります)

**⑦BEEP 設定**

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
50:DET-BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	
51:DET-BEEP MODE	PQPB	PQ-PB 動作時のみ検出音を鳴らす	
	ALL	常時検出音を鳴らす	○
52:DET-BEEP ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中に検出音を OFF	○
	ENABLE	ON-AIR 中に検出音を上記設定で鳴らす	
53:ATMT ERR BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	
54:OPE BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	
55:OPE ERR1 BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	
56: OPE ERR2 BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	
57:CONT ERR BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	

詳細は「3-22. ブザー」を参照して下さい。

"50:DET-BEEP SW" : STOPCODE の検出

"51:DET-BEEP MODE" : 検出音を鳴らす条件の設定

"52:DET-BEEP ON-AIR" : ONAIR 中の検出音設定

"53:ATMT ERR BEEP SW" : ATMT 号機灯ブリンクエラー時

"54:OPE BEEP SW" : スイッチ操作音

"55:OPE ERR1 BEEP SW" : スイッチ操作を受付けない音

"56:OPE ERR2 BEEP SW" : ST-READY or OK 状態からはずれ時

"57:CONT ERR BEEP SW" : 操作実行中エラー終了した時

## ⑧ON AIR 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
60:DET STOP ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 PQ 検知により停止しない	○
	ENABLE	ON-AIR 中 PQ 検知により停止する	
61:PLAY/PQ-PB ON-AIR*	DISABLE	ON-AIR タリ-受付時コマンドを発行しない	○
	PLAY	ON-AIR タリ-受付時 PLAY-C を発行	
	PQ-PB	ON-AIR タリ-受付時 PQ-PB-C を発行	
	ST PLAY	ON-AIR タリ-受付時 ST-REM のみ PLAY-C を発行	
	ST PQ-PB	ON-AIR タリ-受付時 ST-REM のみ PQ-PB-C を発行	
62:REM PLAY-C ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 PLAY-C を受け付けない	
	ENABLE	ON-AIR 中 PLAY-C を受け付ける	○
63:REM PQ-PB ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 PQ-PB-C を受け付けない	
	ENABLE	ON-AIR 中 PQ-PB-C を受け付ける	○
64:REM STOP ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 STOP-C を受け付けない***	○
	ENABLE	ON-AIR 中 STOP-C を受け付ける	
65:VTR INHI ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 VTR を LOCAL/DISABLE/MAP にしない	
	ENABLE	ON-AIR 中 VTR を LOCAL/DISABLE/MAP にする**	○

**\* 61:PLAY/PQ-PB ON-AIR について 補足**

運行系 TALLY 及びスタジオ系 TALLY による起動条件が制御選択スイッチにより異なりますのでご注意ください。

ON AIR TALLY による起動条件を以下の表に示します。

メニュー設定項目	ON AIR 条件	LOCAL	REMOTE	ST-REM	EDIT1/2
DISABLE	運行系 TALLY IN	—	—	—	—
	スタジオ系 TALLY IN	—	—	—	—
PLAY	運行系 TALLY IN	PLAY 起動	PLAY 起動	—	—
	スタジオ系 TALLY IN	PLAY 起動	—	PLAY 起動	—
PQ-PB	運行系 TALLY IN	PQ-PB 起動	PQ-PB 起動	—	—
	スタジオ系 TALLY IN	PQ-PB 起動	—	PQ-PB 起動	—
ST PLAY	運行系 TALLY IN	—	—	—	—
	スタジオ系 TALLY IN	PLAY 起動	—	PLAY 起動	—
ST PQ-PB	運行系 TALLY IN	—	—	—	—
	スタジオ系 TALLY IN	PQ-PB 起動	—	PQ-PB 起動	—

**\*\* 65:VTR INHI ON-AIR について 補足**

SONY 製 VTR にて ON AIR 中 VTR の LOCAL KEY 設定を MAP にするには、VTR の不揮発性 RAM 設定を変更しなければなりません。

(VTR 50P の 22 ピンを MAP 71,00,55,FC,03,00 にする)

**\*\*\* 64:REM STOP ON-AIR について 補足**

MENU 「64:REM STOP ON-AIR」が DISEBLE 設定時、ON AIR TALLY 中に上位（運行装置及びスタジオ）から STOP コマンドを受けた場合、VTR へ STOP は送信されませんが、ST-BY ON 及び ST-BY OFF タイマ-リセットのみ送信します。

▲MENU64 条件変更(改訂2008/11/17)

⑨REMOTE 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
70: REM STATUS OUT	REM	VTRがREM時のみ REMOTE STATUS を出力	○
	LOC&REM	VTRがLOC時にも REMOTE STATUS を出力	
71: REM REC-C SEL	REC-C	REC-Cを受けると REC する	
	REC-C&PLAY-C	REC-C と PLAY-C を同時に受けると REC する	○
72: REM REC-C TCG SET	DISABLE	REMOTE REC 時 TCG-PRESET しない	○
	09:59:30:00	REMOTE REC 時 09:59:30:00 を PRESET する	
	09:59:45:00	REMOTE REC 時 09:59:45:00 を PRESET する	
73: REM PLAY-C 50PIN	DISABLE	PLAYorPQPB 時 9P のみ PLAY コマンド を発行	
	ENABLE	PLAYorPQPB 時 50P へ PLAY コマンド を発行	○
74: REM STOP MODE SEL	STOP	STOP-C を受けると STOP する	○
	STILL	STOP-C を受けると STILL する	
75: REM STOP-S SEL	STOP&STBY	VTR 停止中かつドラムが回転中 STOP-S を出力	○
	STOP	VTR 停止中 STOP-S を出力	
76: REM VTR INHI	DISABLE	REMOTE 中 VTR を LOCAL DISABLE/MAP にしない	
	ENABLE	REMOTE 中 VTR を LOCAL DISABLE/MAP にする*	○
77: REM ERROR-S SEL	NORMAL	エラー発生時常に上位へ ERROR-S を通知する	○
	REM-SW	エラー状態で REMOTE 選択時のみ ERROR-S を通知する	

**\* 72: REM REC-C TCG SET について 補足**

REM REC-C TCG SET は REMOTE から REC-C を受けると MENU で設定した値を TCG PRESET して REC RUN 動作をします。

TCG PRESET の COLOR FRAMING は OFF を設定します。

TCG PRESET の DF/NDF は DF モードを設定します。

MENU 「38:REC TCG DELAY」により TCG PRESET 後の REC-C 送信遅延設定が可能です。DEFAULT は 10F です。

※実際に REC 動作するまでは DEFAULT 時、PRESET 時間を含め約 1 秒程掛かります。

**\* 76:REM VTR INHI について 補足**

REMOTE 中 VTR の LOCAL KEY 設定を MAP にするには、VTR の不揮発性 RAM 設定を変更しなければなりません。

(VTR 50P の 22 ピンを MAP 71,00,55,FC,03,00 にする)

**⑩ST-REM 設定**

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
7G: ST STATUS OUT	REM	VTRがREM時のみST-REM STATUSを出力	○
	LOC&REM	VTRがLOC時にもST-REM STATUSを出力	
7H: ST REC-C SEL	REC-C	REC-Cを受けるとRECする	
	REC-C&PLAY-C	REC-CとPLAY-Cを同時に受けるとRECする	○
7J: ST REC-C TCG SET	DISABLE	ST-REM REC時TCG-PRESETしない	○
	00:59:45:00	ST-REM REC時00:59:45:00をPRESETする	
	09:59:45:00	ST-REM REC時09:59:45:00をPRESETする	
7K: ST PLAY-C 50PIN	DISABLE	PLAYorPQPB時9PのみPLAYコマンドを発行	
	ENABLE	PLAYorPQPB時50PへPLAYコマンドを発行	○
7L: ST STOP MODE SEL	STOP	ST-REMからSTOP-Cを受けるとSTOPする	○
	STILL	ST-REMからSTOP-Cを受けるとSTILLする	
7M: ST STOP-S SEL	STOP&STBY	VTR停止中かつドライブが回転中スリットへSTOP-Sを出力	○
	STOP	VTR停止中スリットへSTOP-Sを出力	
7N: ST VTR INHI	DISABLE	ST-REM中VTRをLOCAL DISABLE/MAPにしない	
	ENABLE	ST-REM中VTRをLOCAL DISABLE/MAPにする*	○
7P: ST ERROR-S SEL	NORMAL	エラー発生時常に上位へERROR-Sを通知する	○
	ST-SW	エラー状態でST-REM選択時のみERROR-Sを通知する	
7Q: ST LOC TAPE STS	DISABLE	LOCAL時TAPE THREADを出力しない	○
	ENABLE	LOCAL時TAPE THREADを出力する	

**\* 7J: ST REC-C TCG SET について 補足**

ST REC-C TCG SET はST-REMからREC-Cを受けるとMENUで設定した値をTCG PRESETしてINT TC REC RUN動作をします。

TCG PRESETのCOLOR FRAMINGはOFFを設定します。

TCG PRESETのDF/NDFはDFモードを設定します。

**\* 7N: ST VTR INHI について 補足**

ST-REM中VTRのLOCAL KEY設定をMAPにするには、VTRの不揮発性RAM設定を変更しなければなりません。

(VTR 50Pの22ピンをMAP 71,00,55,FC,03,00にする)

**⑪その他の設定**

項目	設定項目	機能	デフォルト設定
80:RIS FORWARD TIME	00:00:00S~23:59:59S	RIS の送り時間設定	00:00:55S
81:RIS FWD SPEED	00~99	RIS の送り速度設定 10=1 倍速, 99=MAX	40
82:RIS STOP TRIM	-30F~30F	RIS 完了での VTR 停止位置の微調整	-6F
83:RIS END CTL RESET	DISABLE	RIS 完了時 VTR の CTL を RESET しない	
	ENABLE	RIS 完了時 VTR の CTL を RESET する	○
84:RIS END PQ-REC	DISABLE	RIS 完了の REC で自動的に PQ-REC しない	
	ENABLE	RIS 完了の REC で自動的に PQ-REC する	○
85:AUTO PQ-REC TIME	08S00F~15S00F	REC 開始からの STOPCODE 記録開始時間設定	11S00F
90:TEST REC TIME	00:00:00S~23:59:59S	TEST REC の記録時間設定	00:01:00S
91:TEST REC PRESET	00:00:00S~23:59:59S	TEST REC 時 PRESET する TC 値を設定	00:58:50S
92:TEST REC TCG SET	DISABLE	TEST REC 時 PRESET しない	
	ENABLE	TEST REC 時 PRESET する	○
93:TEST REC SEL	DISABLE	TEST REC 時入力スイッチになにもしない	
	ENABLE	TEST REC 時入力スイッチを TEST に固定	○
A0:REMOTE LINE SEL	DISABLE	REMOTE 時入力スイッチになにもしない	
	ENABLE	REMOTE 時入力スイッチを LINE に固定	○
A1:ST-REM LINE SEL	DISABLE	ST-REM 時入力スイッチになにもしない	
	ENABLE	ST-REM 時入力スイッチを LINE に固定	○
A2:ED1 SWITCHER SEL	DISABLE	EDIT-1 時入力スイッチになにもしない	
	LINE	EDIT-1 時入力スイッチを LINE に固定する	○
	DUB	EDIT-1 時入力スイッチを DUB に固定する	
A3:ED2 SWITCHER SEL	DISABLE	EDIT-2 時入力スイッチになにもしない	
	LINE	EDIT-2 時入力スイッチを LINE に固定する	○
	DUB	EDIT-2 時入力スイッチを DUB に固定する	
B0:LINE AUDIO IN SEL	ANALOG	LINE 時、VTR 音声入力信号をアナログにする	
	AES	LINE 時、VTR 音声入力信号を AES にする	
	SERIAL	LINE 時、VTR 音声入力信号をシリアルにする	○
B1:DUB AUDIO IN SEL	ANALOG	DUB 時、VTR 音声入力信号をアナログにする	
	AES	DUB 時、VTR 音声入力信号を AES にする	
	SERIAL	DUB 時、VTR 音声入力信号をシリアルにする	○
C0:LOCAL OUT SEL	TAPE	LOCAL 時、VTR 出力信号を TAPE にする	○
	EE	LOCAL 時、VTR 出力信号を EE にする	
C1:REMOTE OUT SEL	TAPE	REMOTE 時、VTR 出力信号を TAPE にする	○
	EE	REMOTE 時、VTR 出力信号を EE にする	
C2:ST-REM OUT SEL	TAPE	ST-REM 時、VTR 出力信号を TAPE にする	○
	EE	ST-REM 時、VTR 出力信号を EE にする	
C3:EDIT-1 OUT SEL	TAPE	EDIT-1 時、VTR 出力信号を TAPE にする	○
	EE	EDIT-1 時、VTR 出力信号を EE にする	
C4:EDIT-2 OUT SEL	TAPE	EDIT-2 時、VTR 出力信号を TAPE にする	○
	EE	EDIT-2 時、VTR 出力信号を EE にする	

## ⑫SYSTEM 設定

項目	設定項目	機能	デフォルト設定
F0:UNIT ID	1~8	機器番号を設定します	1
F1:IP ADDRESS	xxx.xxx.xxx.xxx	Ether NET の IP ADDRESS を設定します	192.168.001.240
F2:IP SUBNET MASK	xxx.xxx.xxx.xxx	Ether NET の IP SUBNET MASK を設定します	255.255.255.000
F3:MAC ADDRESS	表示のみ	Ether NET の MAC ADDRESS を表示します	機器に依ります
F4:VTR STS MONI	表示のみ	各種 VTR ステータス	00
F5:LEVEL MONI	表示のみ	各種 LEVEL ステータス	00
F6:I/O CHECK MODE	000~999	メンテナンスでの機器テスト等で使用します	00
F7:F/W UPDATE MODE	DISABLE	通常設定	○
	ENABLE	ファームウェアバージョンアップ等で使用します	
	SILENT	ファームウェアバージョンアップ等で使用します(静音モード)	

### F0:UNIT ID について

機器番号管理等で使用します。

### F1:IP ADDRESS について

デフォルト時 “192.168.001.250” に設定されています。

複数の機器を LAN 接続する場合、機器毎に違う IP アドレスを設定して下さい。

### F2:IP SUBNET MASK について

デフォルト時 “255.255.255.000” に設定されています。

サブネットマスクを設定して下さい。

### F3:MAC ADDRESS について

Ethernet カード固有の物理アドレスです。

物理アドレスが表示されます。

### F4:VTR STS MONI について

メンテナンスで使用します。

各種の VTR ステータスが表示されます。

### F5:LEVEL MONI について

メンテナンスで使用します。

VTR の映像・音声入出力レベル値が表示されます。

### F6: I/O CHECK MODE について

メンテナンスで使用します。

①設定 “>020 : Led All” でフロントパネルの全 LED チェックが出来ます。

ランプが正常に機能しているか確認するのに便利です。

②設定 “>030 : Sw Panel” でフロントパネルの全 SW チェックが出来ます。

各スイッチが正常に機能しているか確認するのに便利です。



- ③設定 “>040 : Beep 1” ~ “>043 : Beep 4” でフロントパネルのブザー音チェックが出来ます。  
ブザーが正常に機能しているか確認するのに便利です。
- ④設定 “050 : Ref Io” で REF チェックモードに入ります。  
機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。  
REF 入力があるとき “02” ない場合 “03” 表示になります。
- ⑤設定 “>061 : CueTone On” で CUE TONE チェックモードに入ります。  
機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。  
CUE TONE 信号を発生します。  
CUE TONE 信号のレベルを確認することができます。
- ⑥設定 “070 : GPI Test” で ST-REM スルーチェックモードに入ります。  
機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。  
ST-REM スルーチェックモードに入ると、押したスイッチに対しての TALLY LED がそのまま返り点灯します。  
外部 REMOTE 等のスイッチ入力及びパラル接点出力の動作確認をするのに便利です。
- ⑦設定 “080 : ReBoot Test” で SET 釦を押すことによりファームリスタートモードに入ります。(CPU のシステムリセットを行います。)
- ⑧設定 “081 : SysErr Test” で SET 釦を押すことにより SYSTEM ERROR 疑似発生モードに入ります。機能を抜ける場合には、電源を再投入してください。

#### F7: F/W UPDATE MODE について

LAN によるリモートメンテナンスで使用します。

ファームウェアの更新や設定情報の読み書き等で使用します。

#### 7-2. MENU の初期化について

本ユニット電源投入時に ENTRY スwitch と LINE スwitch を同時押しで立ち上げると、MENU 設定項目が工場出荷時設定にイニシャライズされます。

※電源投入時、ENTRY と LINE 以外のスswitch は押さないように注意して下さい。

### 7-3. ERROR 表示について

エラーが発生した場合 LCD 表示器にエラーコードを表示します

ERROR 表

エラー表示	エラー内容	処置内容
E1010:EXT REF ER	本機への REF が入力されていない	A
E1020:VTR COM ER	VTR との RS422 通信でエラーが発生しました	A
E1030:ED1 COM ER	EDIT-1 と VTR 間で通信断になりました	A
E1040:ED2 COM ER	EDIT-2 と VTR 間で通信断になりました	A
E1050:SNS ER****	周期センス(TeExt/Int,RecInhi,Unity 状態等)エラーです	A
E1051:VTR H/W ER	VTR のハードウェア異常	B
E1052:VTR LOC ER	VTR が LOCAL になっています	A
E1053:VTR REF ER	VTR に REF が入力されていない	A
E1060:50P OFF ER	VTR の REM50P が OFF になっています (※SONY のみ)	A
E1061:50P LOC ER	VTR の REM50P が Local になっています (※SONY のみ)	A
E2010～E2041	操作エラーです	A
E9010～E9053	リモコン通信 エラー完了 (※操作によるリモコン通信等)	A
SYSTEM ERROR ～	自己診断リストで H/W 故障や致命的エラーが発生しました。	C

NOTE. A 操作手順、設置条件、接続ケーブル等を点検して下さい。

B 点検して下さい。症状によっては VTR の修理を依頼して下さい。

C 本機の修理を依頼して下さい。

\*\*\*\*はサービスマンコードです

## 8. その他の機能

### 8-1 AUTO EDIT 自動解除機能について

- (a) ATMT が VTR と制御状態になると VTR のコントロール<sup>レ</sup>ルで設定したインサート、アッセンブル状態を解除します。

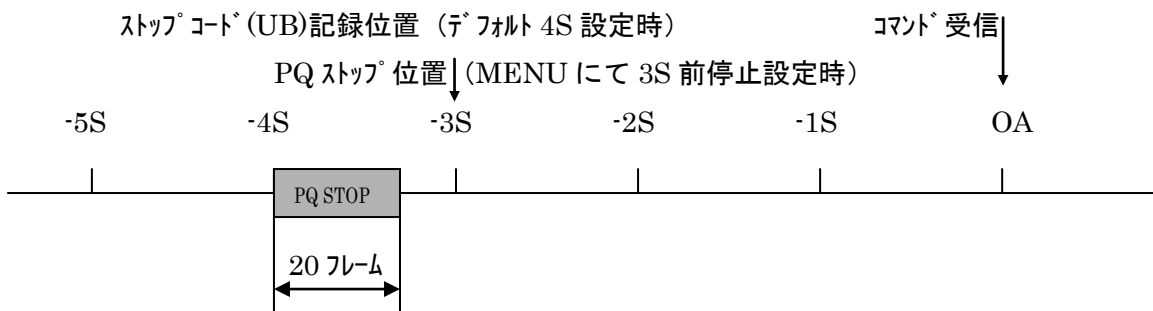
### 8-2 アラーム機能について

- (a) OA タリー入力で LOCAL スイッチ又は EDIT-1 スイッチ又は EDIT-2 を押すと、アラームが鳴り、ENTRY ランプ<sup>レ</sup>が点滅します。
- (b) アラームが鳴っているとき ENTRY スイッチを押すと、アラームが止まり、ENTRY ランプ<sup>レ</sup>は消灯します。
- (c) VTR が LOCAL になっている間アラームが鳴ります。アラームが鳴っている時 ENTRY スイッチを押すと、アラームが止まります。
- (d) アタッチメントに正規のリファレンス信号が入力されていない時、アラームが鳴ります。アラームが鳴っている時「ENTRY」スイッチを押すと、アラームが止まります。
- (e) アタッチメントが REMOTE または ST-REM または EDIT-1 または EDIT-2 の時に UNITY スイッチを押すとアラーム音が鳴ります。
- (f) アタッチメントが REMOTE または ST-REM または EDIT-1 または EDIT-2 の時に REC INH スイッチを押すことにより、アラーム音が鳴ります。
- (g) ステージオ READY 状態でアタッチメント LOCAL または REMOTE または EDIT-1 または EDIT-2 にすることによりアラームが鳴ります。
- (h) (g) の場合 ST-REM スイッチを押すことにより、アラーム音が止まり、ENTRY ランプ<sup>レ</sup>は消灯します。
- (i) OK 状態でアタッチメント LOCAL または ST-REM または EDIT-1 または EDIT-2 にすることによりアラームが鳴ります。
- (j) (i) の場合 REMOTE スイッチを押すことにより、アラーム音が止まり、ENTRY ランプ<sup>レ</sup>は消灯します。
- (k) PQ-REC または PQ-ERASE 時に CTL エラー<sup>レ</sup>が発生するとアラームが鳴りません。

## 9. PQフォーマット

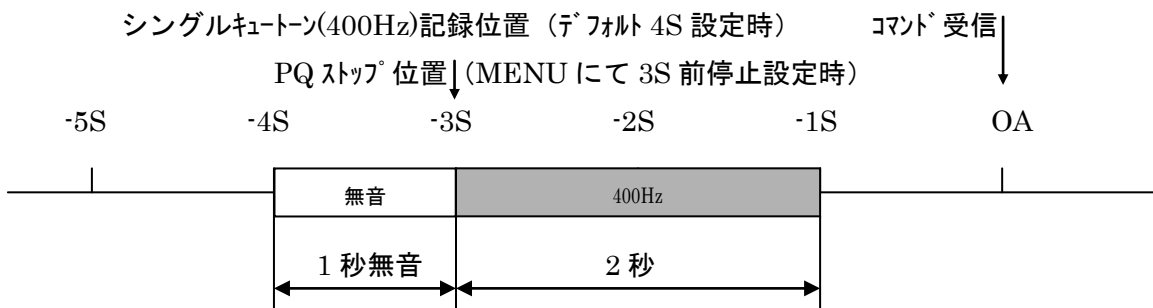
### 9-1. ストップコード記録フォーマット

種類	: SMPTE のタイムコード、トップフレームモード (LTC のユーザーズビットを使用)
記録トラック	: タイムコードトラック
記録位置	: 下記参照
記録/再生レベル	: 2.4Vp-p(10K $\Omega$ )/2.4Vp-p(H inp)
停止位置	: ON AIR 開始点



### 9-2. 確認用キュー記録フォーマット

種類	: トップキュー (400Hz)
記録トラック	: キュートラック
記録位置	: 下記参照
記録レベル	: +4dBm
停止位置	: ON AIR 開始点



### 9-3. ストップコードの記録データ内容

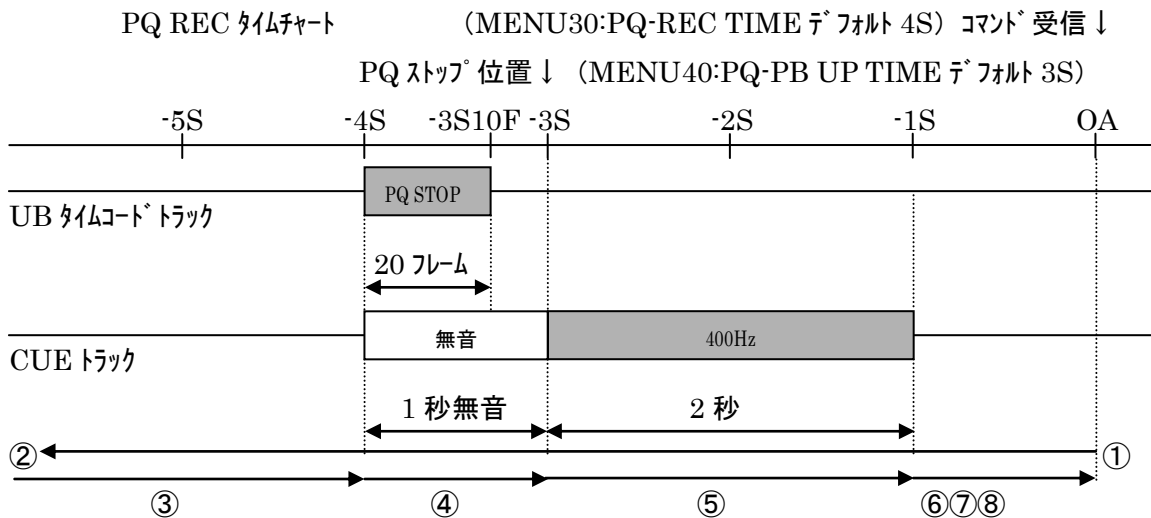
ユーザービットの STOP CODE 一覧表

TIME CODE	BG8-7 (チェックサム)	BG6-5 (データ通し No)	BG4-3 (コードタイプ)	BG2-1 (スタートコード)
00	0xDA	0x13	0x13	0xFF
01	0xDB	0x12	0x13	0xFF
02	0xDC	0x11	0x13	0xFF
03	0xDD	0x10	0x13	0xFF
04	0xDE	0x0F	0x13	0xFF
05	0xDF	0x0E	0x13	0xFF
06	0xE0	0x0D	0x13	0xFF
07	0xE1	0x0C	0x13	0xFF
08	0xE2	0x0B	0x13	0xFF
09	0xE3	0x0A	0x13	0xFF
10	0xE4	0x09	0x13	0xFF
11	0xE5	0x08	0x13	0xFF
12	0xE6	0x07	0x13	0xFF
13	0xE7	0x06	0x13	0xFF
14	0xE8	0x05	0x13	0xFF
15	0xE9	0x04	0x13	0xFF
16	0xEA	0x03	0x13	0xFF
17	0xEB	0x02	0x13	0xFF
18	0xEC	0x01	0x13	0xFF
19	0xED	0x00	0x13	0xFF

## 10. PQ REC シーケンス

VTR が STOP の時 (パラレル制御・スイッチ入力)

- ① VTR が動作を開始すれば、PQ REC ランプを点灯します。
- ② 書き込み位置の手前へ移動します。
- ③ VTR をインサートモードにして、PLAY します。
- ④ この位置より、ユーザーズビットに STOP CODE を 20 フレーム間記録すると共に CUE トラックに 1 秒間無音を記録します。(MENU30:PQ-REC TIME によりマイナス方向へ 1S~31S まで設定可能です。 ※下図はデフォルト 4S)
- ⑤ 1 秒後、CUE トラックに PQ 音 (400Hz) を 2 秒間記録します。
- ⑥ 4 秒後、VTR を STOP します。
- ⑦ 引き続き記録した STOP CODE を PQ PB 確認することもできます。  
(MENU「36:PQ-REC PLAYBACK」設定により可能)
- ⑧ スタジオから PQ REC を OFF し、PQ REC ランプを消灯します。



## 1 1. PQ PB シーケンス

### PQ PB (パラルル制御・スイッチ入力)

- ① VTR に PLAY を指示します。
- ② VTR が PLAY すると共に、PQ PB ランプを点灯し、スタジオ PQ PB 中を ON にします。
- ④ ユーザービットの STOP CODE を検出します。
- ⑤ ユーザービットの STOP CODE の終了より 10F 後 (STOP CODE の開始点より 1 秒後) ~30 秒 10F 後 (STOP CODE の開始点より 31 秒後) の範囲内で停止させることが可能です。(MENU「40:PQ-PB UP TIME」で設定した位置に STOP します※デフォルト設定 0 秒)
- ⑥ PQ PB ランプを消灯し、スタジオ PQ PB 中を OFF します。次にスタジオ PQ PB 完を ON し、PQ PB 完ランプを点灯します。
- ⑦ CTL カウンターを MENU「45:PQ-PB CTL PRESET」設定により PRESET します。(設定範囲は 0S~30S まで可能※デフォルト 0S)

## 1 2. TEST REC シーケンス

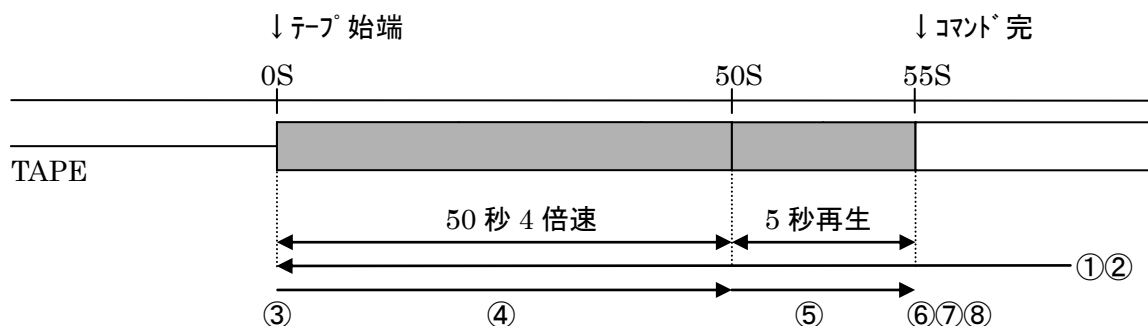
### TEST REC (スイッチ入力)

- ① VTR が動作を開始すれば、TEST REC ランプを点灯します。
- ② VTR の VIDEO IN/AUDIO IN を VTR 内部に設定します。  
※MENU「93:TEST REC SEL」設定によります。
- ④ VTR に REW を指示します。
- ⑤ VTR がテープ始端で STOP します。
- ⑥ VTR の TCG の TC を MENU「92:TEST REC TCG SET」が「ENABLE」時、MENU「91:TEST REC PRESET」で設定した時間で PRESET します。  
(デフォルト設定 00:58:50:00)
- ⑧ VTR を REC します。
- ⑨ VTR が REC になって、MENU「90:TEST REC TIME」で設定した時間後 STOP します。(デフォルト設定 60 秒)
- ⑩ VTR の VIDEO IN/AUDIO IN を戻し、TEST REC ランプを消灯します。

### 13. RIS シーケンス

#### 13-1. RIS (パラレル制御・スイッチ入力)

- ① スタジオリ- RIS 中を ON すると共に、RIS ランプを点灯します。
- ② VTR に REW を指示します。
- ③ VTR がテープ始端で STOP します。
- ④ VTR が STOP した位置より、CTL※をカットして MENU「81:RIS FORWARD TIME」で設定した時間-5 秒後の位置に 4 倍速で移動します。(デフォルト 55 秒)  
※RIS 実行時 CTL が記録されてない (5 秒以上記録されていない) 場合は、アラーム音「ピピピッ!」を鳴らし STOP します。
- ⑤ 5 秒間 PLAY します。
- ⑥ VTR を STOP します。
- ⑦ MENU「83:RIS END CTL RESET」により、VTR の CTL を「00:00:00:00」にリセットすることが可能です。
- ⑧ スタジオリ- RIS 中を OFF し、RIS 完を ON します。又、RIS ランプを消灯し RIS 完ランプを点灯します。





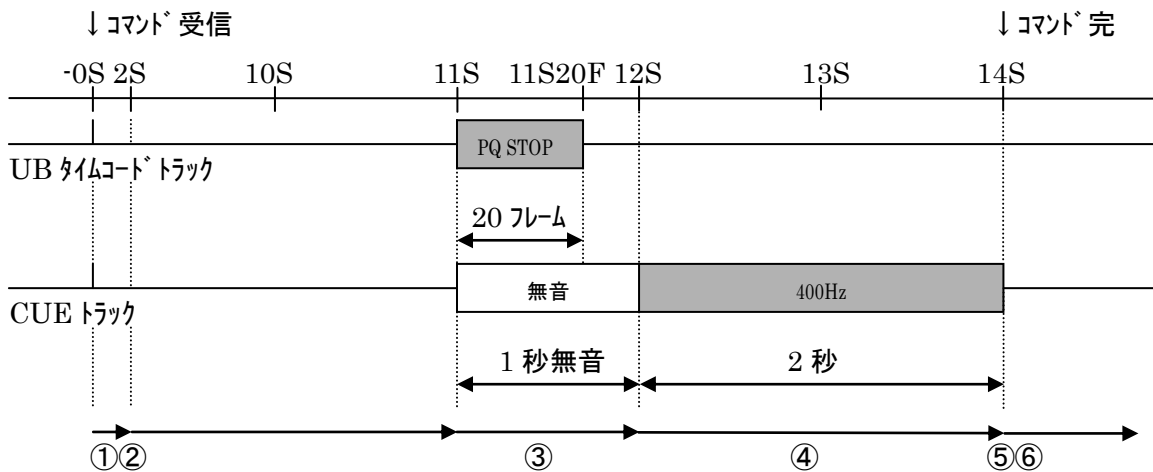
13-2. RIS 完了後の REC による自動 PQ REC※ (パラル制御)

※MENU「93:RIS END PQ-REC」設定により、RIS 完了後 REC することにより自動 PQ REC を行います。

- ① コマンド受信により VTR は REC を開始します。
- ② 2 秒後、PQ REC ランプを ON します。
- ③ 11 秒後※、ユーザズビットに STOP CODE を 20 フレーム間記録すると共に、CUEトラックに無音を 1 秒間記録します。

※MENU「85:AUTO PQ-REC TIME」により REC 開始からの STOPCODE 記録開始時間設定が可能です。(デフォルトは 11 秒)

- ④ 12 秒後、CUEトラックに PQ 音 (400Hz) を 2 秒間記録します。
- ⑤ 14 秒後、スタジオ PQ REC を OFF すると共に PQ REC ランプを消灯します。
- ⑥ VTR は REC を継続します。(TCG の UB スループ設定は元に戻しています)



## 14. 一般仕様

### 14-1. 一般

電源	: AC100V ±10%、50/60Hz
消費電力	: 50VA 以下
動作温度	: 5°C～40°C
使用湿度	: 20%～80%
外形寸法	: 480×88×400mm (幅/高さ/奥行き ※突起部を除く)
質量	: 約 7Kg

### 14-2. 入出力

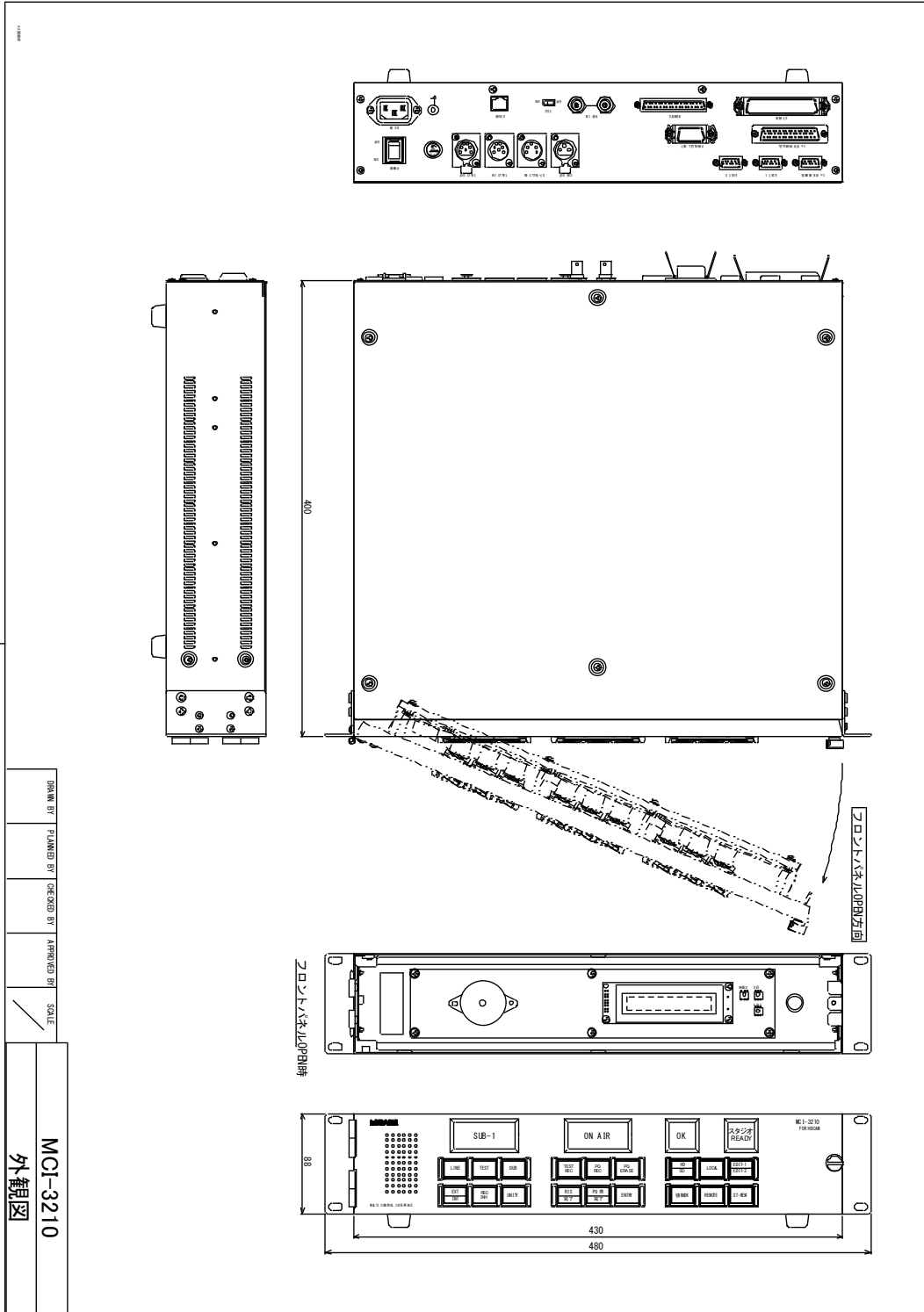
ST-REM	: フォトカプラ受け、M/M接点出力
REMOTE	: フォトカプラ受け、M/M接点出力
to VTR PARALLEL	: フォトカプラ受け、オープンコレクタ出力
PARALLEL OUT	: M/M接点出力
to VTR REMOTE	: RS-422 シリアルポート
EDIT-1	: RS-422 シリアルポート
EDIT-2	: RS-422 シリアルポート
REF IN	: 3 値 SYNC 0.6V(75Ω)、525i/59.94 B.B 0.45V(75Ω)
CUE OUT	: +4dBm
ST-TALLY IN	: フォトカプラ受け
TALLY IN	: フォトカプラ受け
TALLY OUT	: M/M接点出力

### 14-3. 付属品

: AC 電源コード	× 1
: AC 電源コード 抜け止め金具 (装着済み)	× 1
: ラックイヤー (装着済み)	× 1セット
: 取扱説明書	× 1
: 保証書	× 1
: 号機灯フィルム (「V-1」～「V-10」)	× 1
: VTR 接続用 9pin ケーブル (1.5m)	× 1
: VTR 接続用 50pin ケーブル (1.5m)	× 1
: ST-REM 接続用アンフェノール 50 ピンコネクタ/ポート	× 1

別売オプション : スライドレールキット

15. 外観図



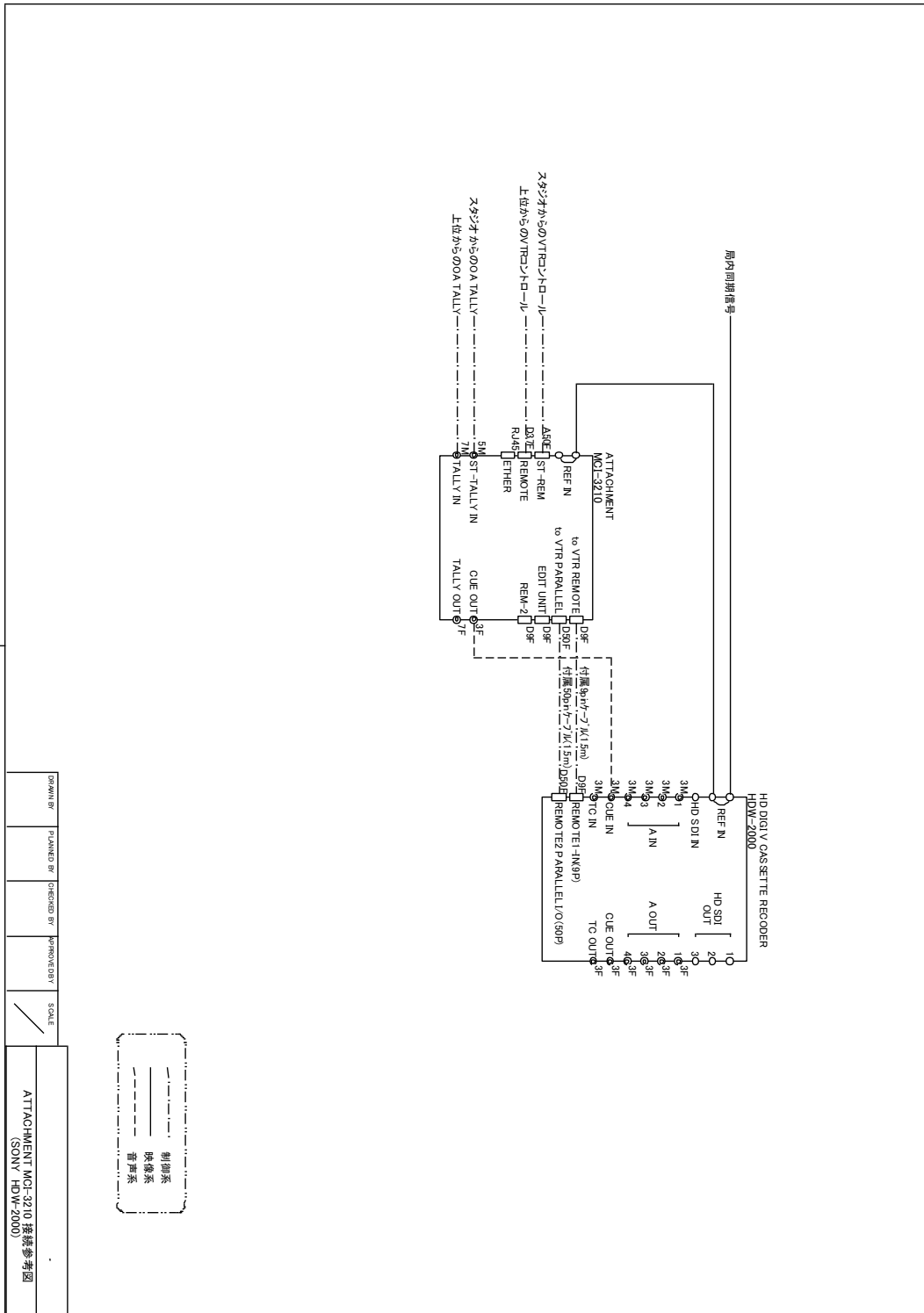
MUSASHI

DRAWN BY / PLANNED BY / CHECKED BY / APPROVED BY / SALE

MCI-3210  
外観図

16. 接続例

16-1. SONY 製 VTR (HDW-2000) との接続例



## 17. 各 VTR 設定の違いと注意点

### 17-1. 各 VTR の動作タイミング及び UNITY 動作について

- (a) PQ-REC の EDIT 開始点、終了点、ユーザービットのリセット開始点、PQ-PB 時の停止タイミング、RIS 動作等、各 VTR により動作タイミングが違います。MCI-3210 では MENU 「02:FORMAT SEL」により VTR を選択することで VTR に最適な動作タイミングのパラメーター値がデフォルトとして設定されます。詳細は 39 ページの「VTR 設定一覧表」を参照して下さい。

**※更にタイミングを微調整したい場合等、MENU の各パラメーターは個別にデフォルト以外の値に変更することは可能ですが、PQ-REC TRIM 系のタイミングなどは注意が必要です。(デフォルト値を推奨しています)**

- (b) MCI-3210 には VTR の VIDEO 及び AUDIO の入出力レベルが UNITY であるか監視・設定する機能がありますが、各 VTR により監視・設定が出来ないパラメーターが存在します。詳細は 39 ページ「VTR の UNITY 判定一覧表」を参照して下さい。
- 又、SONY 製 VTR の場合、デフォルトでは UNITY スイッチは操作出来ません。操作したい場合は、MENU 「06:UNITY SW MASK」を“OFF”に設定して下さい。

### 17-2. SONY 製 VTR (HDW-2000 シリーズ) について

- (a) (HD) SETUP 値を変更しても UNITY ランプに反映しません。
- (b) HDW-A2100 の場合は AUDIO IN 及び CUE IN の UNITY 入力レベルは監視していません。
- (c) VTR の REMOTE は 9PIN と 50PIN 併用で動作します。必ず事前に VTR の NV-RAM 設定を行って下さい。詳細は、33 ページ「6-3. to VTR PARALLEL コネクタ (HDW-2000 シリーズの 50PIN とストレート接続)」を参照して下さい。

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

---

## **武蔵株式会社**

**TEL 03-5982-4391    FAX 03-5982-4784**

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F 〒161-0033

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜(休祝日を除く)

URL: <http://www.musashi-kk.co.jp/>

---